

ApeosWare Management Suite 2

付属ツールのヘルプ

- ①このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ②このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ③このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

「マニュアルと付属ツールについて」、「本書の表記」、および商標については、『セットアップガイド』を参照してください。

富士フイルムビジネスイノベーションに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル 0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 ～ 12 時、13 ～ 17 時

フリーダイヤルは、海外からはご利用になれません。また、一部の IP 電話からはつながらないことがあります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

インターネットホームページで商品情報を提供しています。

アクセス先は、https://www.fujifilm.com/fb/product/software/aw_manage_suite です。

もくじ

もくじ	2
-----------	---

1 Data Input Console のヘルプ

Data Input Console とは	4
操作の流れ	4
メニューとダイアログボックス	5
メニュー	5
ダイアログボックス	6
操作説明	12
Data Input Console を起動する・終了する	12
設定データを読み込む	12
データを編集する	13
データを反映する	16
設定内容をエクスポートする	17
ログを設定する	17
ホームページを表示する	17
バージョンを表示する	18
バックアップする、リストアする	18

2 Update Service のヘルプ

Update Service とは	19
サーバーモードでインストールした場合	19
操作説明	19
アイコン	24
ウィンドウ	26
ダイアログボックス	36
クライアントモードでインストールした場合	40
操作説明	40
アイコン	42
ウィンドウ	44
ダイアログボックス	51

3 Diagnostics Utility のヘルプ

Diagnostics Utility とは	53
操作の流れ	53
メイン画面とダイアログボックス	54

メイン画面	54
ダイアログボックス	57
操作説明	59
Diagnostics Utility を起動する・終了する	59
通信状態からエラーを診断する	60
Windows/ ログ情報を取得してエラーを診断する	61
記録するログについて設定する	61
バージョン情報を表示する	62
ログを一括表示する	63
画面について	63
起動する	64

4 Popup Messenger のヘルプ

Popup Messenger とは	65
操作説明	65
初期設定の流れ	65
メイン画面	66
[Popup Messenger] ダイアログボックス	66
[環境設定] ダイアログボックス	66
[Popup Messenger Version Information] ダイアログボックス	66
プリントジョブの設定画面	67
[プリント詳細] ウィンドウ	67
[ジョブ名の変更] ウィンドウ	69
[パスワードの入力] ウィンドウ	69
[すべてのユーザーのアカウントの選択] ウィンドウ	69
キャンセル通知ウィンドウ	70
カラー印刷警告ダイアログボックス	71

1 Data Input Console のヘルプ

Data Input Console とは

Data Input Console は、ApeosWare Management Suite を初期設定するときや運用中に、次の情報を一括して登録します。

- 機器情報
- ボックス
- 宛先情報
- 論理プリンター情報
- プリンター情報

また、ApeosWare Management Suite に設定されている上記の情報を取得し、編集して、ApeosWare Management Suite に再度、登録できます。

Data Input Console で設定できる情報を「属性」と呼びます。

操作の流れ

Data Input Console を使用して、ApeosWare Management Suite に属性を一括して設定する操作の流れを説明します。

1. Data Input Console を起動します。

情報を取得します。

- ApeosWare Management Suite から読み込む
- CSV ファイルから読み込む

2. データを編集します。

3. 編集したデータを ApeosWare Management Suite に反映します。



編集した内容を CSV ファイルとしてエクスポートすることもできます。

4. 反映結果を確認します。

5. Data Input Console を終了します。

メニューとダイアログボックス

メニュー

[ファイル] メニュー

- [機器から属性取得]
[属性値を取得する機器の指定] ダイアログボックスを表示します。
- [システムから属性取得]
[取得する属性の指定] ダイアログボックスを表示します。
- [システムに属性設定]
[設定する属性の指定] ダイアログボックスを表示します。
- [エクスポート (CSV)]
[エクスポートするシートの指定] ダイアログボックスが表示されるので、エクスポートするシートを指定します。
- [作業状態の保存]
データ入力エリアに入力した値を保存します。
- [終了]
Data Input Console を終了します。

[編集] メニュー

- [切り取り]
選択しているセルのデータを切り取ります。
- [コピー]
選択しているセルのデータをコピーします。
- [貼り付け]
切り取りまたはコピーしたデータを選択したセルに貼り付けます。
- [削除]
選択したセルのデータを削除します。
- [検索]
セルに入力された値を検索します。

[ツール] メニュー

- [ログの設定]
[ログの設定] ダイアログボックスを表示します。

[ヘルプ] メニュー

- [ヘルプ]
このヘルプを表示します。
- [ホームページ]
ApeosWare Management Suite の製品紹介ホームページまたは富士フイルムビジネスイノベーションのホームページを表示します。
 - [ApeosWare Management Suite]
Web ブラウザーで、ApeosWare Management Suite の製品紹介ホームページを表示します。
 - [富士フイルムビジネスイノベーション]
Web ブラウザーで、富士フイルムビジネスイノベーションのホームページを表示します。
- [バージョン情報]
Data Input Console のバージョンを表示します。

ダイアログボックス

言語選択

Data Input Console に使用する言語を選択します。

言語

Windows の地域と言語のオプションのシステムロケールに設定された言語と、[英語] から選択します。

[OK]

設定している内容を保存し、このダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

検索

データ入力部のデータを検索します。

検索する文字列

検索する文字列を入力します。入力できる文字数は、0 ～ 512 です。

全角と半角を混在して入力できます。

検索方法

次のどちらかを選択します。

- 完全に同一であるものを検索する
[検索する文字列] に入力した文字列と、完全に同じ文字列を検索します。
- 内容が含まれるものを検索する
[検索する文字列] に入力した文字列の内容が含まれている文字列を検索します。

[次を検索]

データ入力部を検索し、条件が一致したセルにカーソルを移動します。

検索の対象になるのは、アクティブなシートです。

検索の対象になるセルは、セルの選択の状態によって異なります。

- 1 つだけセルを選択した場合
シートにあるすべてのセルが検索の対象になります。
- 複数のセルを選択した場合
選択しているセルだけが検索の対象になります。

条件と一致したセルがない場合は、「検索条件に一致するデータは見つかりませんでした」というメッセージが表示されます。

[閉じる]

検索を終了し、このダイアログボックスを閉じます。

ログの設定

動作ログの出力先と、動作ログとして出力するログの種類を設定します。

ログに記録するエラーの種類

出力するログの種類を設定します。

- エラー
障害の場合だけログを出力します。

- エラー / 警告
障害と警告のログを出力します。
- エラー / 警告 / 情報
障害、警告、および情報のログを出力します。

格納先

ログファイルを保存するフォルダーを入力します。入力できる文字数は、0 ～ 260 です。
全角と半角を混在して入力できます。
初期設定は、「{データ格納先フォルダー} ¥Data¥Logs¥Tools」です。

[参照]

[フォルダの参照] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスで、ログファイルを保存するフォルダーを指定します。

[OK]

設定している内容を保存し、このダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

バージョン情報

Data Input Console のバージョン情報を表示します。

[閉じる]

このダイアログボックスを閉じます。

機器選択

属性を取得する機器を指定します。

機器の検索

[宛先表] または [ボックス] にチェックマークを付けます。

検索条件

[検索条件の指定] ダイアログボックスを表示し、機器の検索条件を設定します。

選択した機器の通信設定

[機器の通信設定] ダイアログボックスを表示し、一覧でチェックマークを付けた機器の通信を設定します。

選択した機器の削除

一覧でチェックマークを付けた機器を削除します。

検索条件の指定

検索に使用するプロトコル

検索するプロトコルを選択します。

検索範囲の条件

[検索に使用するプロトコル] に「SNMP v1/v2」または「SNMP v3」を指定した場合に、検索範囲の入力アイテムをセットします。

検索範囲

検索範囲を指定します。

ポート番号

ポート番号を入力します。

通信タイムアウト時間

通信タイムアウト時間を入力します。

[OK]

設定している内容を保存し、このダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

機器の通信設定

機械管理者情報

機器と通信するときの機械管理者 ID、パスワードを入力します。

ポート番号

機器と SOAP 通信する場合のポート番号を入力します。

[OK]

設定している内容を保存し、このダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

機器から取得する属性の指定

機器から取得する属性を指定します。

取得対象

〔宛先表〕または〔ボックス〕のどちらかにチェックマークを付けます。

[開始]

このダイアログボックスを閉じ、属性の取得を開始します。

属性の取得中は、〔属性の取得〕ダイアログボックスに、進行状況が表示されます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

取得する属性の指定

属性を取得する対象を指定します。複数の項目を選択できます。

機器情報

ApeosWare Management Suite で使用する機器情報の属性を取得するときにチェックマークを付けます。

論理プリンター情報

ApeosWare Management Suite で使用する論理プリンターの属性を取得するときにチェックマークを付けます。

宛先表

ApeosWare Management Suite で使用する宛先表の属性を取得するときにチェックマークを付けます。

ボックス

ApeosWare Management Suite で使用するボックスの属性を取得するときにチェックマークを付けます。

プリンター情報

ApeosWare Management Suite で使用するプリンター情報の属性を取得するときにチェックマークを付けます。

【開始】

このダイアログボックスを閉じ、属性の取得を開始します。

属性の取得中は、【属性の取得】ダイアログボックスに、進行状況が表示されます。

【キャンセル】

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

設定する属性の指定

属性を設定する対象を指定します。複数の項目を選択できます。

機器情報

ApeosWare Management Suite で使用する機器情報の属性を設定するときにチェックマークを付けます。

論理プリンター情報

ApeosWare Management Suite で使用する論理プリンターの属性を設定するときにチェックマークを付けます。

宛先表

ApeosWare Management Suite で使用する宛先表の属性を設定するときにチェックマークを付けます。

ボックス

ApeosWare Management Suite で使用するボックスの属性を設定するときにチェックマークを付けます。

プリンター情報

ApeosWare Management Suite で使用するプリンター情報の属性を設定するときにチェックマークを付けます。

【開始】

このダイアログボックスを閉じ、属性の設定を開始します。

属性の設定中は、【属性の設定】ダイアログボックスに、進行状況が表示されます。

【キャンセル】

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

属性の取得 / 属性の設定

属性の取得または設定中に、進行状況をプログレスバーで表示します。

プログレスバー

属性の取得または設定の、進行状況を表示します。

【キャンセル】

属性の取得または設定を中断し、このダイアログボックスを閉じます。

属性値の取得の結果 / 属性の設定の結果

情報を取得または設定した結果を表示します。

「取得できなかった属性の詳細情報」または「設定できなかった属性の詳細情報」

属性が取得または設定できなかった場合に表示されます。属性のあるシート名と、詳細が表示されます。

[OK]

このダイアログボックスを閉じます。

論理プリンター＞ LPR キュー（設定）

「論理プリンター」シートの「LPR キュー」列で「LPR キューの設定」列のリンクをクリックすると、表示されます。

LPR キューを追加、変更、または削除します。



上記の「(設定)」は、ダイアログボックスのタイトルに表示されません。
ヘルプを区別するために記載しています。

LPR キュー

LPR キューのキュー名と文字セットの一覧が表示されます。

LPR キューを変更または削除するときに、選択します。

[追加]

LPR キューを追加したいときにクリックします。

「LPR キュー」（追加・変更）ダイアログボックスが表示されます。

[変更]

LPR キューを変更したいときに、LPR キューを選択してからクリックします。

「LPR キュー」（追加・変更）ダイアログボックスが表示されます。

[削除]

LPR キューを削除したいときに、LPR キューを選択してからクリックします。

LPR キューが削除されます。

[OK]

設定している内容を保存し、このダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

論理プリンター＞ LPR キュー（追加・変更）

「LPR キュー」（設定）ダイアログボックスで「追加」ボタンまたは「変更」ボタンをクリックすると、表示されます。

LPR キューを追加または変更します。



上記の「(追加・変更)」は、ダイアログボックスのタイトルに表示されません。
ヘルプを区別するために記載しています。

キュー名

キュー名を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字、ハイフン (-)、およびアンダーバー (_) で 0 ～ 256 です。

初期値は [lp] です。

文字セット

ドロップダウンリストボックスから、文字セットを選択します。

クライアント PC の環境や、プリントするデータの文字コードに合わせて選択してください。

選択できるのは、次の項目です。

初期値は [UTF-8 (Unicode)] です。

- シフト JIS/CP932 (日本語)
- GBK/CP936 (簡体字中国語)
- Big5/CP950 (繁体字中国語)
- EUC-KR/CP949 (韓国語)
- Windows-1252 (英語)
- UTF-8 (Unicode)
- EUC-JP-LINUX (日本語)

[OK]

設定している内容を保存し、このダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、このダイアログボックスを閉じます。

操作説明

Data Input Console を起動する・終了する

Data Input Console を起動する

1. Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [データ設定ツール] の順に選択します。
[言語選択] ダイアログボックスが表示されます。



Windows の地域と言語のオプションのシステムロケールに [英語 (米国)] が設定されている場合は、[言語選択] ダイアログボックスは表示されません。

2. 言語を選択して [OK] をクリックします。
Data Input Console が起動します。



Data Input Console が起動できなかった場合は、メッセージが表示されます。
メッセージに従って対処してください。

Data Input Console を終了する

1. ファイルメニューから [終了] を選択します。

設定データを読み込む

CSV ファイルから読み込む

ユーザーが作成した CSV ファイルのデータを Data Input Console に読み込みます。
CSV ファイルは、次の条件を満たすように作成してください。

- ファイルサイズは 4 GB 以内
- 100,000 行、256 列以内
- 文字コードは UTF-8



パスワードなどの情報は、平文ではインポートできません。

1. 任意のシートで [インポート (CSV)] ボタンをクリックします。
ファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。
2. 読み込む CSV ファイルを選択して、[開く] をクリックします。
各シートに、読み込んだデータが表示されます。

ApeosWare Management Suite から読み込む

ApeosWare Management Suite から、Data Input Console で設定する属性を読み込みます。

1. [ファイル] メニューから [システムから属性取得] を選択します。
[取得する属性の指定] ダイアログボックスが表示されます。
2. 属性を取得したい項目にチェックマークを付けて、[開始] をクリックします。
取得が開始されます。[属性の取得] ダイアログボックスに、進行状況が表示されます。

取得が完了した場合は、「属性を取得しました」というメッセージが表示されます。

取得できなかった属性がある場合は、「属性値の取得の結果」ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] をクリックします。

データを編集する

ツリーを操作する

Data Input Console の左側のエリアには、設定できる機能がツリー形式で表示されます。

ツリーから項目を選択すると、右側のエリアに、選択した項目に対応したシートが表示されます。

シート上でデータを入力したり、編集したりできます。

シート内の項目の詳細については、ApeosWare Management Suite のヘルプを参照してください。

Data Input Console

クリックすると、右側のエリアに「ツールの概要説明」が表示されます。

- 論理プリンター
クリックすると、右側のエリアに「論理プリンター」シートが表示されます。
- 機器情報
クリックすると、右側のエリアに「機器情報」シートが表示されます。
- ボックス
クリックすると、右側のエリアに「ボックス」シートが表示されます。
- 宛先情報
クリックすると、右側のエリアに「ファクス」シートが表示されます。
シート上部のタブをクリックすると、表示するシートが切り替わります。
 - ・ [ファクス] タブ
[ファクス] シートが表示されます。
 - ・ [IP ファクス (SIP)] タブ
[IP ファクス (SIP)] シートが表示されます。
 - ・ [インターネットファクス] タブ
[インターネットファクス] シートが表示されます。
 - ・ [メールアドレス] タブ
[メールアドレス] シートが表示されます。
 - ・ [サーバー] タブ
[サーバー] シートが表示されます。

各シートのボタンについて

各シートに表示されるボタンについて説明します。

【論理プリンター】シート

- [インポート (CSV)]
ファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、インポートする CSV ファイルを指定します。
- [エクスポート (CSV)]
[エクスポートするシートの指定] ダイアログボックスが表示されるので、エクスポートするシートを指定します。
- [システムから属性取得]
[取得する属性の指定] ダイアログボックスが表示されるので、取得対象を指定します。
- [システムに属性設定]
[設定する属性の指定] ダイアログボックスが表示されるので、設定対象を指定します。

【機器情報】 シート

- [インポート (CSV)]
ファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、インポートする CSV ファイルを指定します。
- [エクスポート (CSV)]
[エクスポートするシートの指定] ダイアログボックスが表示されるので、エクスポートするシートを指定します。
- [システムから属性取得]
[取得する属性の指定] ダイアログボックスが表示されるので、取得対象を指定します。
- [システムに属性設定]
[設定する属性の指定] ダイアログボックスが表示されるので、設定対象を指定します。

【ボックス】 シート

- [インポート (CSV)]
ファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、インポートする CSV ファイルを指定します。
- [エクスポート (CSV)]
[エクスポートするシートの指定] ダイアログボックスが表示されるので、エクスポートするシートを指定します。
- [システムから属性取得]
[取得する属性の指定] ダイアログボックスが表示されるので、取得対象を指定します。
- [システムに属性設定]
[設定する属性の指定] ダイアログボックスが表示されるので、設定対象を指定します。

【宛先情報】 の各シート

- [インポート (CSV)]
ファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、インポートする CSV ファイルを指定します。
- [エクスポート (CSV)]
[エクスポートするシートの指定] ダイアログボックスが表示されるので、エクスポートするシートを指定します。
- [システムから属性取得]
[取得する属性の指定] ダイアログボックスが表示されるので、取得対象を指定します。
- [システムに属性設定]
[設定する属性の指定] ダイアログボックスが表示されるので、設定対象を指定します。

リンクセルについて

リンクセルには、リンク文字が表示されます。初期設定は、＜指定なし＞です。

リンク文字をクリックすると、項目を設定するためのダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックスで項目を設定し、[OK] をクリックすると、設定した内容がリンクセルに反映されます。

リンクセルは、[論理プリンター] シートの [関連する機器グループ] などに設定されています。

見出しとデータ入力部

Data Input Console の左側にあるツリーの項目をクリックすると、右側に、項目に応じたシートが表示されます。

シートのデータを入力するための表形式の領域を、データ入力部と呼びます。

データ入力部は、データを入力するためのセルと、見出しで構成されています。

見出し

行の属性名が表示されます。設定が必須のときは、「必須」と表示されます。

見出しをクリックすると、その列のセルのデータがソートされます。

セル

セルのデータは、次のように編集できます。

- セルを複数選択する
- セルをコピー＆ペーストする
- セルのデータを削除する
- 検索する

セルを操作する

データ入力部のセルのデータを操作します。

セルを複数選択する

1. 選択したいセル範囲の先頭にあるセルをクリックします。
2. 選択したいセル範囲にあわせて、次の操作をします。
 - ・ 矩形範囲を選択するときは、選択範囲の左上隅のセルをクリックし、右下隅のセルまでドラッグします。
 - ・ 連続した範囲を選択するときは、<Shift> キーを押したまま、選択範囲の末尾のセルをクリックします。または、<Shift>+ 矢印キーを押します。
 - ・ 連続していない複数の領域を選択するときは、<Ctrl> キーを押したまま、選択したセルをクリックします。

セルをコピー＆ペーストする



パスワードはコピー＆ペーストできません。

1. コピーしたいデータのあるセルを選択します。
2. [編集] メニューから [コピー] を選択します。
3. コピーしたデータを貼り付けたいセルをクリックします。
4. [編集] メニューから [貼り付け] を選択します。

セルのデータを削除する

1. 削除したいデータのあるセルを選択します。
2. [編集] メニューから [切り取り] または [削除] を選択するか、<Delete> キーを押します。

検索する

データ入力部のデータを検索します。



パスワードは検索できません。

1. [編集] メニューから [検索] を選択します。
[検索] ダイアログボックスが表示されます。
2. 検索する文字列に、検索する文字列を入力します。
入力できる文字数は、0 ～ 512 です。
全角と半角を混在して入力できます。

3. 検索方法を選択します。

- ・ 完全に同一であるものを検索する
検索する文字列に入力した文字列と、完全に同じ文字列を検索します。
- ・ 内容が含まれるものを検索する
検索する文字列に入力した文字列の内容が含まれている文字列を検索します。

4. [次を検索] をクリックします。

データ入力部の、検索条件と一致したセルにカーソルが移動します。

条件に当てはまるセルがない場合は、「検索条件に一致するデータは見つかりませんでした」というメッセージが表示されます。

5. 検索が終了したら [閉じる] をクリックします。

ソートする

データ入力部で、選択した列のデータを並び替えます。

1. 並び替えたいセルの見出しをクリックします。



- ・ 数値セルの場合、行が昇順に並び替えられます。
- ・ 文字が入力されたセルの場合、行が数値 (0 ~ 9)、記号、アルファベット (ABC 順)、かな (五十音順) の順序で並び替えられます。
- ・ セルの昇順・降順は、セルの見出しをクリックするたびに切り替わります。
- ・ 空白セルの場合は、何か文字が入力されているセルの下に移動されます。
- ・ パスワードは「*」で表示されるので、実際のパスワードの内容ではなく、「*」として並び替えられます。

データを反映する

設定したデータを反映する

Data Input Console で設定したデータを、ApeosWare Management Suite に反映します。

1. [ファイル] メニューから [システムに属性設定] を選択します。

[設定する属性の指定] ダイアログボックスが表示されます。

2. 属性を取得したい項目にチェックマークを付けます。

3. [開始] をクリックします。

[属性の設定] ダイアログボックスに、進行状況が表示されます。

属性の設定をキャンセルする場合は、[キャンセル] をクリックします。

データの削除を反映する

Data Input Console で選択した属性のデータを、ApeosWare Management Suite から削除できます。

1. 削除したい項目のあるシートで、対象の列の [削除する] にチェックマークを付けます。

2. [ファイル] メニューから [システムに属性設定] を選択します。

[設定する属性の指定] ダイアログボックスが表示されます。

3. 属性を削除したい項目にチェックマークを付けます。

4. [開始] をクリックします。

[属性の設定] ダイアログボックスに、進行状況が表示されます。

属性の設定をキャンセルする場合は、[キャンセル] をクリックします。

反映結果を確認する

ApeosWare Management Suite にデータを反映した結果を確認します。

1. 「属性を設定しました」というメッセージ、または「属性の設定の結果」ダイアログボックスで [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

属性の取得が正常終了した場合は、「属性を設定しました」というメッセージが表示されます。

一部の属性の設定に失敗した場合は、「属性の設定の結果」ダイアログボックスに、結果が表示されます。

2. Data Input Console で、データ入力部の一番左に追加された「結果」列を確認します。

- ・ 空白
操作が中断されたため、データが反映されませんでした。
- ・ 更新済み
更新データが反映されました。
- ・ 登録済み
新規データが反映されました。
- ・ 失敗
データの反映に失敗しました。



「結果」は、Data Input Console の終了時に破棄されます。

設定内容をエクスポートする

Data Input Console での設定内容を、CSV ファイル形式でエクスポートします。



- ・ CSV ファイルは、「UTF-8 (BOM あり)」の形式でエクスポートされます。
- ・ パスワードなどの情報は、暗号化されてエクスポートされます。

1. 任意のシートで「エクスポート (CSV)」ボタンをクリックします。または、[ファイル] メニューから「エクスポート (CSV)」を選択します。

「エクスポートするシートの指定」ダイアログボックスが表示されます。

2. エクスポートするシートを指定し、[開始] をクリックします。

CSV ファイルを保存する場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

3. 保存する場所を指定し、[OK] をクリックします。

Data Input Console での設定内容がエクスポートされます。

ログを設定する

動作ログの出力先と、動作ログとして出力するログの種類を設定します。

1. [ツール] メニューから「ログの設定」を選択します。

「ログの設定」ダイアログボックスが表示されます。

2. ログに記録するエラーの種類と格納先を設定して、[OK] をクリックします。

ホームページを表示する

ApeosWare Management Suite のホームページまたは富士フイルムビジネスイノベーションのホームページを表示します。

- ・ ApeosWare Management Suite のホームページを表示する

- 富士フイルムビジネスイノベーションのホームページを表示する

ApeosWare Management Suite のホームページを表示する

ApeosWare Management Suite のホームページを表示します。

1. [ヘルプ] メニューから [ホームページ] > [ApeosWare Management Suite] を選択します。
ApeosWare Management Suite のホームページが表示されます。

富士フイルムビジネスイノベーションのホームページを表示する

富士フイルムビジネスイノベーションのホームページを表示します。

1. [ヘルプ] メニューから [ホームページ] > [富士フイルムビジネスイノベーション] を選択します。
富士フイルムビジネスイノベーションのホームページが表示されます。

バージョンを表示する

Data Input Console のバージョン情報を表示します。

1. [ヘルプ] メニューから [バージョン情報] を選択します。
[バージョン情報] ダイアログボックスが表示されます。
2. [閉じる] をクリックします。

バックアップする、リストアする

Data Input Console の設定データをバックアップする場合は、次のフォルダーを任意の場所に保存してください。

{データ格納先フォルダー} ¥Data¥Data¥AWDIC

リストアする場合は、バックアップした設定データを上記のフォルダーに上書きしてください。



{データ格納先フォルダー} の初期設定は、「C:¥FUJIFILM¥ApeosWare MS」です。

2 Update Service のヘルプ

Update Service とは

Update Service の主な機能は、次のとおりです。

- 対象ソフトウェアの更新と、不具合時のパッチ適用
- ApeosWare Management Suite のデータベースに登録した機器に対応する、プリンタードライバーまたはファクスドライバーの登録（サーバーモードでインストールした場合）
- 富士フイルムビジネスイノベーションからお客様にお知らせしたい情報の取得

サーバーモードでインストールした場合

操作説明

Update Service を起動する・終了する

Update Service を起動する

1. PC を起動して、Administrators グループのユーザーでログオンします。
自動的に Update Service も起動し、タスクトレイにアイコンが表示されます。



- Update Service が起動しない場合や、Update Service を終了したあとで再起動する場合は、Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [アップデートサービス] > [Update Service- いますぐ更新] と選択してください。
- アイコンは、初期設定では表示されますが、[全般] タブで [表示しない]（更新結果の通知を受けた場合は一時的に表示する）に設定した場合は表示されません。

タスクトレイに表示されるアイコンは、次の 2 種類があります。

-  (更新の通知を受けていない状態)
-  (更新の通知を受けた状態)

アイコンの詳細については、「アイコン」(P.24) を参照してください。

Update Service を終了する

1. タスクトレイの  (更新の通知を受けていない状態) アイコンを右クリックします。
2. メニューから [終了] を選択します。
Update Service が終了します。

ソフトウェアを更新する

Update Service が対応するソフトウェアをダウンロードしてインストールする手順を、説明します。



新しいバージョンの Update Service とその他のソフトウェアがリリースされている状態で更新すると、はじめに Update Service が更新されます。

その他のソフトウェアは、そのあとに更新してください。

1. PC を起動します。

自動的に Update Service も起動します。

起動しない場合は、「Update Service を起動する」(P.40) の補足を参照してください。

2. [Update Service- プロパティ] ウィンドウの [更新の設定] タブをクリックします。

3. Update Service をサーバーモードでインストールした場合は、ソフトウェアを自動更新の対象にするか、プリンタードライバーとファクスドライバーを自動更新の対象にするかを選択できます。

[Update Service の更新対象] で、[ソフトウェア] または [ドライバー] にチェックマークを付けるか、外します。

Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、常にソフトウェアが自動更新の対象になります。プリンタードライバーとファクスドライバーを自動更新の対象にはできません。

4. [更新の設定] タブで次の設定をします。

■ 自動的な更新の通知の受信とダウンロードをしたい場合

(1) [更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する] を選択します。

(2) [開始時刻] と [更新間隔] を設定します。

(3) [適用] または [OK] をクリックします。

[開始時刻] と [更新間隔] に設定した時間が到来したときに更新があった場合は、アイコンに通知され、更新用パッケージがダウンロードされます。

■ 自動的な更新の通知の受信だけをしたい場合

(1) [更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない] を選択します。

(2) [開始時刻] と [更新間隔] を設定します。

(3) [適用] または [OK] をクリックします。

[開始時刻] と [更新間隔] に設定した時間が到来したときに更新があった場合は、アイコンに通知されます。

■ 自動的な更新の通知の受信とダウンロードをしたくない場合

(1) [自動更新を無効にする] を選択します。

(2) [適用] または [OK] をクリックします。

5. 必要に応じて、[Update Service- プロパティ] ウィンドウの次のタブの項目を設定します。

初期状態の設定でよい場合は、設定する必要はありません。

- ・ [全般] タブ
- ・ [ログ] タブ
- ・ [更新の通知] タブ
- ・ [ソフトウェア取得先] タブ
- ・ [更新対象ソフトウェア] タブ
- ・ [ドライバー取得先] タブ

Update Service をクライアントモードでインストールした場合、このタブの内容は表示できません。

- ・ [更新対象ドライバー] タブ

Update Service をクライアントモードでインストールした場合、このタブの内容は表示できません。

6. 自動的に更新されたソフトウェアがダウンロードされたときは、[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウでインストールします。

すぐに更新したい場合や、[更新の設定] タブで [更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない] または [自動更新を無効にする] を選択した場合は、[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウでダウンロードとインストールをします。

7. [実行結果] ダイアログボックスに表示された、インストール結果を確認します。

インストールできなかった更新用パッケージがある場合は、手順 8 のあとに手順 9 を実行してください。

8. [実行結果] ダイアログボックスを閉じます。

9. [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウを再度表示して、インストールできなかった更新用パッケージにチェックマークを付け、[インストール] をクリックします。

Device Management でプリンターを登録する場合 > 富士フイルムビジネスインノベーション製のプリンタードライバーとファクスドライバーを登録する

ApeosWare Management Suite のデータベースに登録した機器に対応するプリンタードライバーとファクスドライバーを、Update Service に登録する手順を説明します。

1. PC を起動します。

自動的に Update Service も起動します。

起動しない場合は、「Update Service を起動する」(P.40) の補足を参照してください。

2. [Update Service- プロパティ] ウィンドウの [更新対象ドライバー] タブで、登録するプリンタードライバーとファクスドライバーにチェックマークを付けます。



[更新対象ドライバー] タブをクリックしても内容が表示されない場合は、[更新の設定] タブの [Update Service の更新対象] で [ドライバー] にチェックマークを付け、[適用] をクリックします。

3. 必要に応じて、[Update Service- プロパティ] ウィンドウの次のタブの項目を設定します。

初期状態の設定でよい場合は、設定する必要はありません。

- [全般] タブ
- [ログ] タブ
- [更新の通知] タブ
- [ドライバー取得先] タブ

4. [Update Service- プロパティ] ウィンドウの [更新の設定] タブを設定します。

■ 定期的に更新の通知の受信とダウンロードをしたい場合

(1) 次のどちらかを選択します。

- [更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない]
- [更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する]



どちらを選択しても、富士フイルムビジネスインノベーション製プリンタードライバーとファクスドライバーの場合は実行される機能に差異はありません。

ただし、PostScript ドライバーの場合は、どちらを選択しても自動的な更新の通知の受信とダウンロードはできません。

詳細については、「[更新の設定] タブ」(P.28) の表を参照してください。

(2) [開始時刻] と [更新間隔] を設定します。

(3) [自動更新の際に、最新の更新対象ドライバーを取得する] にチェックマークを付けます。

(4) [適用] または [OK] をクリックします。

[開始時刻] と [更新間隔] に設定した時間が到来してダウンロードされると、ApeosWare Management Suite の [プリンタードライバーのダウンロード] ページで、プリンタードライバーとファクスドライバーをダウンロードできるようになります。

■ 定期的に更新の通知の受信とダウンロードをしたくない場合

(1) [自動更新を無効にする] を選択します。

(2) [適用] または [OK] をクリックします。

5. 次の場合は、[Update Service- 富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバー管理] ウィンドウで、プリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。

- ・ ドライバーファイルを指定して登録したい場合
[ファイルから登録] をクリックします。
- ・ ドライバー CD キットから登録したい場合
[メディアから登録] をクリックします。
- ・ すぐに更新したい場合
[サイトから登録] をクリックします。



- ・ [サイトから登録] では、PostScript ドライバーを登録できません。
- ・ [ファイルから登録] では、ART-EX ドライバーを登録できません。

ApeosWare Management Suite の [プリンタードライバーのダウンロード] ページで、プリンタードライバーとファクスドライバーをダウンロードできるようになります。

Device Management でプリンターを登録する場合 > 富士フイルムビジネスイノベーション製以外のプリンタードライバーとファクスドライバーを登録する

Update Service に富士フイルムビジネスイノベーション製以外のプリンタードライバーとファクスドライバーを登録する手順を説明します。



ApeosWare Management Suite のデータベースに機器を登録するより先に、この手順を実施してください。

1. PC を起動します。

自動的に Update Service も起動します。

起動しない場合は、「Update Service を起動する」(P.40) の補足を参照してください。

2. 必要に応じて、[Update Service- プロパティ] ウィンドウの次のタブの項目を設定します。

初期状態の設定でよい場合は、設定する必要はありません。

- ・ [全般] タブ
- ・ [ログ] タブ



富士フイルムビジネスイノベーション製以外のプリンタードライバーとファクスドライバーの場合は、次の機能に対応していません。

- ・ Web サイトを参照して更新をチェックする
- ・ Web サイトから更新されたプリンタードライバーとファクスドライバーをダウンロードする

[更新の設定] タブで [更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する] または [更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない] を選択しても、富士フイルムビジネスイノベーション製以外のプリンタードライバーとファクスドライバーには有効になりません。

3. [Update Service- 他社製ドライバー管理] ウィンドウで、プリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。

ApeosWare Management Suite の [プリンタードライバーのダウンロード] ページで、プリンタードライバーとファクスドライバーをダウンロードできるようになります。

富士フイルムビジネスイノベーションからのお知らせを取得する

富士フイルムビジネスイノベーションからのお知らせを取得する手順を、説明します。

1. PC を起動します。

自動的に Update Service も起動します。

起動しない場合は、「Update Service を起動する」(P.40) の補足を参照してください。

2. [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウで [最新情報をチェック] をクリックします。
お知らせを取得します。



定期的に富士フイルムビジネスソリューションからのお知らせを取得したい場合は、ソフトウェアを更新する手順 4. で、[更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する] または [更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない] を選択します。

更新用パッケージを削除する

格納先から不要な更新用パッケージを削除します。

1. [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウの一覧で、削除する更新用パッケージにチェックマークを付けます。
2. [削除] をクリックします。
格納先から選択した更新用パッケージが削除されます。

設定とドライバーをバックアップする・リストアする

Update Service の設定と、プリンタードライバーまたはファクスドライバーをバックアップおよびリストアする操作を説明します。

Update Service の設定をバックアップする

1. 「{Update Service のインストール先フォルダー} ¥Update Service¥configuration」 フォルダーを、バックアップ先にコピーします。

Update Service の設定をリストアする

1. リストア先サーバーの「{Update Service のインストール先フォルダー} ¥Update Service¥configuration」フォルダーを開きます。
2. Update Service の設定をバックアップしたフォルダーから、次のファイルを上書きでコピーします。
 - AccessSetting.xml
 - DriverSiteSetting.xml
 - GeneralSetting.xml
 - LogSetting.xml
 - NoticeSetting.xml
 - ScheduleSetting.xml
 - UpdateObjectSetting.xml

プリンタードライバーまたはファクスドライバーをバックアップする

1. 「{Update Service のモジュール格納先フォルダー} ¥Update Service¥DriverData」 フォルダーを、バックアップ先にコピーします。

プリンタードライバーまたはファクスドライバーをリストアする

1. リストア先サーバーの「{Update Service のモジュール格納先フォルダー} ¥Update Service¥DriverData」フォルダーを開きます。
2. プリンタードライバーまたはファクスドライバーをバックアップしたフォルダーから、すべての内容を上書きでコピーします。

アイコン

タスクトレイには、Update Service のアイコンが表示されます。

通知が無いときはが、あるときはが表示されます。

それぞれのアイコンが表示されているときのメニュー、バルーンヒント、ツールヒントテキスト、およびクリックしたときに表示される内容について説明します。

(Update Service) アイコン

通知が無いときに表示されます。

バルーンヒントは表示されません。

ツールヒントテキストは、[Update Service] が表示されます。

- 右クリックしたときのメニュー

- ・ いますぐ更新

- [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されます。

- [Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、[いますぐ更新] をクリックできません。



補足

アイコンをダブルクリックしても、[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されます。

- ・ プロパティ

- [Update Service- プロパティ] ウィンドウが表示されます。

- [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、[プロパティ] をクリックできません。

- ・ 格納先の管理

- [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されます。

- [Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されているときは、[格納先の管理] をクリックできません。

- ・ ドライバー管理

- このメニューは、Update Service をサーバーモードでインストールした場合だけ表示されます。

- [Update Service- 富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバー管理] ウィンドウが表示されます。

- ・ 他社製ドライバー管理

- このメニューは、Update Service をサーバーモードでインストールした場合だけ表示されます。

- [Update Service- 他社製ドライバー管理] ウィンドウが表示されます。

- ・ バージョン情報

- [バージョン情報] ウィンドウが表示されます。

- ・ ヘルプ

- このヘルプが表示されます。

- ・ 終了

- Update Service が終了します。



アイコン

通知があるときに表示されます。

- 表示される内容と左クリックしたときの動作

バルーンヒント	ツールヒントテキスト	左クリックまたはダブルクリックしたとき
最新情報チェック終了 富士フィルムビジネスイノベーションからの新着のお知らせがあります 詳細は ApeosWare Management Suiteのポータルで確認してください。	新着お知らせの通知	次のメッセージボックスが表示されます。 「富士フィルムビジネスイノベーションからの新着のお知らせがあります。 詳細は ApeosWare Management Suite のポータルで確認してください。」
最新情報チェック終了 最新情報のチェックが終了しました。 最新情報をダウンロードするには、このアイコンをクリックしてください。	最新情報チェック結果の通知	[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されます。 ただし、[Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、表示されません。
ダウンロード終了 最新情報のダウンロードが終了しました。 インストールするには、このアイコンをクリックしてください。	ダウンロード結果の通知	[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されます。
ドライバー登録終了 ドライバーを Update Service へ登録しました。	ドライバー登録結果の通知	・ 1 件以上登録した場合 [富士フィルムビジネスイノベーション製ドライバーの登録結果] ダイアログボックスが表示されます。 ・ 1 件も登録しなかった場合 次のメッセージボックスが表示されます。 「ドライバー登録の結果、該当する最新のドライバーがないか、または、プロパティの [更新対象ドライバー] タブで、該当するドライバーが選択されていないため、何もせず処理を終了しました。」
自動更新エラー 自動更新に失敗しました	自動更新失敗の通知	失敗した原因を示すメッセージボックスが表示されます。
ドライバー登録中止 更新対象ドライバーが選択されていません。	ドライバー登録中止の通知	次のメッセージボックスが表示されます。 「更新対象のドライバーが 1 つも選択されていないため、ドライバーを登録しませんでした。プロパティの [更新対象ドライバー] タブで、登録したいドライバーを選択してください。」

- 右クリックしたときのメニュー

- 通知の表示

「表示される内容と左クリックしたときの動作」で「左クリックまたはダブルクリックしたとき」と同様です。

- 通知の一括削除

「{件数} 件の通知メッセージを、すべて削除します。よろしいですか?」というメッセージボックスが表示されます。

[はい] をクリックすると、保存されている通知メッセージをすべて削除します。

ウィンドウ

Update Service- いますぐ更新

次のどちらかの操作をすると表示されます。

- タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[いますぐ更新] をクリックします。
- Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [アップデートサービス] > [Update Service いますぐ更新] を選択します。

[Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、[いますぐ更新] をクリックできません。

取得先の最新情報を確認して、更新用パッケージのダウンロードとインストールを行います。

更新用パッケージとは、ソフトウェアのバージョンごとにある単位です。

ダウンロード対象リスト

- [最新情報をチェック]

取得先の最新情報をチェックし、ダウンロードの対象となる更新用パッケージを一覧に表示します。

また、富士フイルムビジネスイノベーションからのお知らせを取得します。



- お知らせの内容は、ApeosWare Management Suite の [ポータル] ページで確認してください。
- お知らせを取得中にエラーが発生しても、新着のお知らせが [ポータル] ページに表示されることがあります。

- 取得先
[ソフトウェア取得先] タブの [取得先] に設定した URL が表示されます。
- 一覧
ダウンロードする更新用パッケージにチェックマークを付けます。

[ダウンロード]

[ダウンロード対象リスト] で指定した更新用パッケージをダウンロードします。

終了すると、[実行結果] ダイアログボックスに結果が表示されます。

インストール対象リスト

- 格納先
Update Service をインストールしたときにモジュール格納先フォルダーに設定したフォルダーのパスが表示されます。
ダウンロードした更新用パッケージが格納されます。
- 一覧
インストール済みのソフトウェアより新しいバージョンの更新用パッケージで、インストールされていないものが表示されます。
インストールする更新用パッケージに、チェックマークを付けます。

[インストール]

[インストール対象リスト] で指定した更新用パッケージをインストールします。

終了すると、[実行結果] ダイアログボックスに結果が表示されます。



インストールしたパッケージは、インストール対象リストから削除されます。再インストールなどで古いバージョンに戻った場合でも、再度リストに表示されることはありません。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

Update Service- プロパティ

次のどちらかの操作をすると表示されます。

- タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
- Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [アップデートサービス] > [Update Service プロパティ] と選択します。

[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、[プロパティ] をクリックできません。

次のタブとボタンで構成されます。

タブ

- [全般] タブ
- [ログ] タブ
- [更新の設定] タブ
- [更新の通知] タブ
- [ソフトウェア取得先] タブ
- [更新対象ソフトウェア] タブ
- [ドライバー取得先] タブ
- [更新対象ドライバー] タブ

Update Service をクライアントモードでインストールした場合、[ドライバー取得先] タブと [更新対象ドライバー] タブは表示されません。

[OK]

設定している内容を保存し、ウィンドウを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、ウィンドウを閉じます。

[適用]

設定した内容を有効にします。

[ヘルプ]

このヘルプを表示します。

[全般] タブ

全般的なプロパティを設定します。

タスクトレイでのアイコンの表示

タスクトレイのアイコン表示の有無を選択します。

- 表示する
タスクトレイにアイコンを表示します。
初期状態で選択されています。
- 表示しない（更新結果の通知を受けた場合は一時的に表示する）
タスクトレイのアイコンを非表示にします。

インストーラの実行モード

インストールをするときの実行モードを指定します。

- サイレントモード（対話が必要な場合は対話モードで実行される）
ダイアログボックスを表示しないでインストールします。
ユーザーは各項目を入力する必要はありません。
ただし、入力が必要な場合は、設定に関係なく対話モードで実行されます。
初期状態で選択されています。
- 対話モード
対話モードでインストールします。
ダイアログボックスを表示し、必要な項目を入力してインストールします。

[ログ] タブ

ログの保存期間の設定と、保存先の確認をします。

保存期間

保存期間を、[90 日]、[180 日]、[360 日]、[削除しない] から選択します。
初期値は [360 日] です。

格納先

ログの保存先が表示されます。



保存期間で [削除しない] 以外を選択した場合、ファイルの作成日が、現在の日付～保存期間より過去に作成されたログファイルを削除します。新しいログファイルを作成するときに削除されます。

[更新の設定] タブ

自動更新の対象と、更新の実行について設定します。

Update Service の更新対象

Update Service をサーバーモードでインストールした場合に表示されます。クライアントモードでインストールした場合は、表示されません。

- ソフトウェア
ソフトウェアを自動更新の対象にする場合に、チェックマークを付けます。
 - ドライバー
プリンタードライバーとファクスドライバーを自動更新の対象にする場合に、チェックマークを付けます。
- Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、ソフトウェアが常に自動更新の対象になります。プリンタードライバーとファクスドライバーは、常に自動更新の対象外になります。

自動更新の設定

自動更新の実行について、次から選択します。

- 自動更新を無効にする
 - 更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない
 - 更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する
- 上記の項目を選択したときに、対象ごとに実行される機能を次の表に示します。

○：機能が実行される

×：機能が実行されない

項目名	機能	対象				
		ソフトウェア *1	富士フィルムビジネスイノベーション製のプリンターとファクスドライバー (PostScript ドライバーを除く) *2	富士フィルムビジネスイノベーション製の PostScript ドライバー *2	富士フィルムビジネスイノベーション製のプリンターとファクスドライバー *2	富士フィルムビジネスイノベーションからののお知らせ *3
自動更新を無効にする	更新の通知	×	×	×	×	×
	ダウンロード	×	×	×	×	×
	インストール	×	×	×	×	×
更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない *4	更新の通知	○	○	×	×	○
	ダウンロード	×	○ *5	×	×	○
	インストール	×	×	×	×	×
更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する	更新の通知	○	○	×	×	○
	ダウンロード	○	○ *5	×	×	○
	インストール	×	×	×	×	×

*1 Update Service をサーバーモードでインストールした場合は、[自動更新の設定] で [ソフトウェア] にチェックマークを付けた場合の対象です。Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、常に対象です。

*2 Update Service をサーバーモードでインストールした場合は、[自動更新の設定] で [ドライバー] にチェックマークを付けた場合の対象です。Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、常に対象外です。

*3 Update Service をサーバーモードでインストールした場合は、常に対象です。Update Service をクライアントモードでインストールした場合、Update Service を利用するソフトウェアの機能によって、対象になるかならないかが決まります。

*4 初期状態で選択されています。

*5 ダウンロードされると、ApeosWare Management Suite のデータベースに登録した機器と組み合わせられてプリンタードライバーまたはファクスドライバーになります。
ApeosWare Management Suite の [プリンタードライバーのダウンロード] ページで、プリンタードライバーまたはファクスドライバーをダウンロードできるようになります。

開始時刻

[更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない] または [更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する] を選択した場合に、チェックする時刻を次のように設定します。

● 時間

[0] ～ [23] の 1 時間刻みで選択します。

サーバーモードでの初期値は [0] です。クライアントモードでの初期値は [11] ～ [17] から、インストールのとき無作為に選択されます。

● 分

[00] ～ [55] の 5 分刻みで選択します。

クライアントモードでの初期値は [00] ～ [55] から、インストールのとき無作為に選択されます。

更新間隔

「更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない」または「更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する」を選択した場合に、チェックする間隔を選択します。

- 毎日
毎日チェックします。
- 毎週
初期状態で選択されています。
チェックする間隔を曜日で指定します。
- 毎月
チェックする間隔を日付で指定します。
設定した日付が、チェックする月の最終日より大きい場合は、最終日に実施されます。

自動更新の際に、最新の更新対象ドライバーを取得する

Update Service をサーバーモードでインストールした場合だけ表示されます。

ApeosWare Management Suite のデータベースに機器を追加した場合は、チェックマークを付けると、プリンタードライバーまたはファクスドライバーが登録されます。

初期状態では、チェックマークが外れています。

「更新の通知」タブ

「更新の設定」タブで、「更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない」または「更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する」を選択した場合、チェックやダウンロード結果の通知条件と通知方法を設定します。



補足

「更新の設定」タブで、「自動更新を無効にする」を選択した場合、ここでの設定は無効になります。

通知条件

通知条件を選択します。

初期状態では、すべてチェックマークが付いています。

- 最新情報のチェック結果を通知する
更新のチェック結果を通知します。
- ダウンロードの結果を通知する
ダウンロードの結果を通知します。
- ドライバーの更新結果を通知する
この項目は、Update Service をサーバーモードでインストールした場合に表示されます。
プリンタードライバーまたはファクスドライバーをダウンロードした結果を通知します。

リマインダー

通知条件で選択した実行結果の通知方法を選択します。

- 通知は一回のみ
一回だけ通知します。
- 繰り返し通知する
指定した間隔で、繰り返し通知します。
ただし、アイコンに表示されたバルーンヒントをクリックすると、通知が停止されます。
そのあと通知が更新されると、再び通知が開始されます。

初期状態で選択されています。



【繰り返し通知する】を選択した場合は、自動更新の設定には関係なく、実行結果だけ通知されます。

- 間隔

通知する間隔を、[10 分]、[30 分]、[1 時間]、[2 時間]、[半日]、[1 日]、[2 日]、[1 週間]、または [2 週間] から選択します。

初期値は [10 分] です。

[ソフトウェア取得先] タブ

Update Service をサーバーモードでインストールした場合、このタブの内容を表示できるのは、[更新の設定] タブの [自動更新の設定] で [ソフトウェア] にチェックマークを付けたときです。

Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、このタブの内容を常に表示できます。最新情報の取得先と、ダウンロードした更新用パッケージの保存先を設定します。

取得先

最新情報の取得先を選択します。

- 富士フィルムビジネスイノベーションのサイトから最新情報を取得する

サーバーモードでインストールした場合に表示されます。

富士フィルムビジネスイノベーションのサイトから最新情報を取得します。

初期状態で選択されています。

- サーバーの格納先から最新情報を取得する

クライアントモードでインストールした場合に表示されます。

接続先サーバーの格納先から最新情報を取得します。

初期状態で選択されています。

以下の項目は、サーバーモードとクライアントモードのどちらでインストールした場合も同じです。

- ・ URL

初期設定では、富士フィルムビジネスイノベーションの URL

(http://opencds-fb.fujifilm.com/gen/aw_suite_aux/softwareupdate/awms/) が入力されています。

- ・ プロキシサーバー

プロキシサーバーとプロキシ認証を使用するかしないかを表示します。

[プロキシサーバーの設定]

[プロキシサーバーの設定] をクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。

- 共有フォルダー、または、メディアから最新情報を取得する

共有フォルダーまたはメディアから最新情報を取得します。

- ・ フォルダー名

共有フォルダー名、またはローカルフォルダー名 (パス) を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ~ 260 です。

[参照]

[参照] をクリックすると、フォルダーを指定できます。

- ・ アカウントを使用する

アカウントを使用する場合は、チェックマークを付けて、次の項目を設定します。

- ・ アカウント名

アカウント名を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ~ 256 です。

- ・パスワード
アカウントのパスワードを入力します。
入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。



補足

取得先に共有フォルダーを指定してアカウントを使用する場合、入力したアカウント名とパスワードで、指定したフォルダーにアクセスできるかどうかをチェックします。

アカウント名とパスワードを入力しなくてもアクセスできるときは、入力したアカウント名とパスワードは無効になります。フォルダーへアクセスできなかったときは、エラーになります。

【更新対象ソフトウェア】 タブ

Update Service をサーバーモードでインストールした場合、このタブの内容を表示できるのは、[更新の設定] タブの [自動更新の設定] で [ソフトウェア] にチェックマークを付けたときです。

Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、このタブの内容を常に表示できます。
自動的に更新するソフトウェアを選択します。

対象一覧

Update Service が対応するソフトウェアが表示されます。

チェックマークを付けると、自動的に更新する対象になります。

初期設定では、すべてのソフトウェアにチェックマークが付いています。

【ドライバー取得先】 タブ

Update Service をサーバーモードでインストールした場合、このタブの内容を表示できるのは、[更新の設定] タブの [自動更新の設定] で [ドライバー] にチェックマークを付けたときです。

Update Service をクライアントモードでインストールした場合、このタブは表示されません。
プリンタードライバーとファクスドライバーの取得先を設定します。

ドライバー用の富士フイルムビジネスイノベーションのサイトからドライバーを取得します

- URL

プリンタードライバーとファクスドライバーを取得する先の、富士フイルムビジネスイノベーションの URL が表示されます。

- プロキシサーバー

プロキシサーバーとプロキシ認証を使用するかしないかを表示します。

[プロキシサーバーの設定]

[プロキシサーバーの設定] ダイアログボックスを表示します。

【更新対象ドライバー】 タブ

Update Service をサーバーモードでインストールした場合、このタブの内容を表示できるのは、[更新の設定] タブの [自動更新の設定] で [ドライバー] にチェックマークを付けたときです。

Update Service をクライアントモードでインストールした場合、このタブは表示されません。

一覧

Update Service に登録する富士フイルムビジネスイノベーション製のプリンタードライバーとファクスドライバーに、チェックマークを付けます。

初期状態では、チェックマークが外れています。

- ドライバー名

プリンタードライバー名とファクスドライバー名が表示されます。

- アーキテクチャ
32 ビットシステム用のドライバーでは [32 ビット] と表示されます。
64 ビットシステム用のドライバーでは [64 ビット] と表示されます。
- 言語
プリンタードライバーとファクスドライバーが対応する言語が表示されます。

[すべて選択]

一覧に表示されているすべての項目に、チェックマークを付けます。

[選択を解除]

一覧で選択されているすべての項目から、チェックマークを外します。

Update Service- 格納先の管理

タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[格納先の管理] をクリックすると表示されます。

[Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されているときは、[格納先の管理] をクリックできません。

格納先に保存されている更新用パッケージの表示と削除を行います。

格納先

Update Service をインストールしたときにモジュール格納先フォルダーに設定したフォルダーのパスが表示されます。

一覧

[格納先] に保存されている更新用パッケージを表示します。

- 実施状態
Update Service を使用してインストールが完了した場合は [インストール]、それ以外の場合は [ダウンロード] が表示されます。



Update Service 以外でアンインストールなどをして、一覧の内容は更新されません。

- 実施日
Update Service を使用して、ダウンロードまたはインストールを最後に実行した日付を表示します。
- ソフトウェア名
更新用パッケージのソフトウェア名を表示します。
- バージョン
更新用パッケージのバージョンを表示します。

[すべて選択]

一覧に表示されたすべての項目に、チェックマークが付きます。

[選択を解除]

一覧で選択されているすべての項目の、チェックマークを外します。

[削除]

チェックマークが付いている更新用パッケージを削除します。



補足

サーバーからクライアントツールのパッケージを削除すると、クライアント PC がそのパッケージをダウンロードできなくなります。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

Update Service- 富士フイルムビジネスインノベーション製ドライバー管理

次のどちらかの操作をすると表示されます。

- タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[ドライバー管理] をクリックします。
- Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [アップデートサービス] > [Update Service ドライバー管理] と選択します。



補足

表示されない場合は、[更新の設定] タブの [Update Service の更新対象] で [ドライバー] にチェックマークを付け、[適用] をクリックします。

富士フイルムビジネスインノベーション製のプリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。

ドライバー登録リスト

プリンタードライバーとファクスドライバーを登録する方法を選択します。



補足

- ・一部のプリンタードライバーとファクスドライバーは、富士フイルムビジネスインノベーションのサイトから登録できません。
その場合は、ドライバーを登録できない機器に付属したドライバー CD キットを利用して、[メディアから登録]を実行してください。
- ・登録したら、一覧の [バージョン] にドライバーのバージョンが表示されることを確認してください。
- [ファイルから登録]
PostScript ドライバーを登録するときにクリックします。
PC にある PostScript ドライバーを指定して、登録します。
クリックすると、[富士フイルムビジネスインノベーション製ドライバーの登録 (ファイルから登録)] ダイアログボックスが表示されます。
- [メディアから登録]
CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入された CD から、プリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。
クリックすると、[富士フイルムビジネスインノベーション製ドライバーの登録 (メディアから登録)] ダイアログボックスが表示されます。



補足

登録が終了するまでに時間がかかります。また、途中で中止できません。

登録中は PC をシャットダウンできません。

- [サイトから登録]
富士フイルムビジネスインノベーションのサイトからダウンロードして、プリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。



補足

ネットワーク環境や登録対象ドライバーの件数により、処理が終了するまでに時間がかかります。

一覧

富士フィルムビジネスイノベーション製のプリンタードライバーとファクスドライバーが表示されます。

- ドライバー名

プリンタードライバー名とファクスドライバー名が表示されます。

- バージョン

Update Service に登録された、プリンタードライバーとファクスドライバーのバージョンが表示されます。

バージョンの情報がない場合は、「-」が表示されます。

Update Service に登録されていないプリンタードライバーとファクスドライバーの場合は、「未登録」が表示されます。

- アーキテクチャ

32 ビットシステム用のドライバーでは [32 ビット] と表示されます。

64 ビットシステム用のドライバーでは [64 ビット] と表示されます。

- 言語

プリンタードライバーとファクスドライバーが対応する言語が表示されます。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

Update Service- 他社製ドライバー管理

タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[他社製ドライバー管理] をクリックすると表示されます。



補足

表示されない場合は、[更新の設定] タブの [Update Service の更新対象] で [ドライバー] にチェックマークを付け、[適用] をクリックします。

富士フィルムビジネスイノベーション製以外のプリンタードライバーとファクスドライバーを、Update Service に登録します。

[登録]

クリックすると、[他社製ドライバーの登録] ダイアログボックスが表示されます。



補足

登録したら、[ドライバー登録リスト] で登録されたことを確認してください。

ドライバー登録リスト

富士フィルムビジネスイノベーション製以外のプリンタードライバーとファクスドライバーで、登録済のものが表示されます。

[すべて選択]

リストに表示されたすべての項目に、チェックマークが付きます。

[選択を解除]

リストで選択されているすべての項目の、チェックマークを外します。

[削除]

チェックマークが付いているプリンタードライバーとファクスドライバーを、削除します。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

バージョン情報

タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[バージョン情報] をクリックすると表示されます。

お使いの Update Service のバージョン情報が表示されます。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

ヘルプ

タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[ヘルプ] をクリックすると表示されます。
このヘルプが表示されます。

ダイアログボックス

プロキシサーバーの設定

最新情報の取得に、プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。使用する場合は、接続先のプロキシサーバーや認証方法を設定します。

[Update Service- プロパティ] ウィンドウの [ソフトウェア取得先] タブまたは [ドライバー取得先] タブで、[プロキシサーバーの設定] をクリックすると表示されます。

プロキシサーバーを使用する

プロキシサーバーを使用する場合はチェックマークを付けて、次の項目を設定します。

- アドレス

IPv4、IPv6、または、有効な DNS アドレス名を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。

- ポート

ポート番号を入力します。

入力できる文字は、数字の 1 ～ 65535 です。

- プロキシ認証を使用する

プロキシ認証を使用する場合は、チェックマークを付け、次の項目を設定します。

- ・ ユーザー名

プロキシサーバーのユーザー名を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。

- ・ パスワード

プロキシサーバーのパスワードを入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。

[OK]

設定を保存し、ダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

処理を取消し、ダイアログボックスを閉じます。

進捗状況

処理が開始されると表示され、終了すると閉じます。

[中止]

実行中の処理を中止します。

〔Update Service- 富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバー管理〕ウィンドウで、〔ファイルから登録〕または〔メディアから登録〕を選択した場合は表示されません。

実行結果

更新のチェック、ダウンロード、またはインストールの実行結果が表示されます。

[閉じる]

ダイアログボックスを閉じます。

確認

インストールする前、または〔Update Service- 格納先の管理〕ウィンドウで更新用パッケージを削除する前に表示されます。

一覧に表示される項目が、処理対象です。

[はい]

操作中の処理を実行します。

[いいえ]

操作中の処理を取消し、画面を閉じます。

富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバーの登録（ファイルから登録）

ドライバーファイルを使って、富士フイルムビジネスイノベーション製の PostScript ドライバーを登録します。

〔Update Service- 富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバー管理〕ウィンドウで、〔ファイルから登録〕をクリックすると表示されます。

ドライバーの種類

〔PostScript ドライバー〕が表示されます。

取得先

ドライバーファイルの取得先を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 260 です。

[参照]

表示されるドライバーファイル指定ダイアログボックスから、ドライバーファイルの取得先を指定します。

[OK]

PostScript ドライバーを登録します。終了すると〔富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバーの登録結果〕ダイアログボックスが表示されます。

[キャンセル]

処理を取消し、ダイアログボックスを閉じます。

富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバーの登録（メディアから登録）

〔ドライバー CD キット〕を使って、富士フイルムビジネスイノベーション製のプリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。

[Update Service- 富士フイルムビジネスインノベーション製ドライバー管理] ウィンドウで、[メディアから登録] をクリックすると表示されます。

ドライブ

CD が挿入されているドライブを選択します。

[OK]

プリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。処理が終了すると [富士フイルムビジネスインノベーション製ドライバーの登録結果] ダイアログボックスが表示されます。

[キャンセル]

処理を取り消し、ダイアログボックスを閉じます。

他社製ドライバーの登録

ドライバーファイルを使用して、富士フイルムビジネスインノベーション製以外のプリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。

[Update Service- 他社製ドライバー管理] ウィンドウの [登録] ボタンをクリックすると、表示されます。



指定したプリンタードライバーとファクスドライバーがすでに登録されている場合は、再登録します。

対象 OS

プリンタードライバーとファクスドライバーの対象 OS に、チェックマークを付けます。

取得先

ドライバーファイルの取得先を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 260 です。

[参照]

表示される [ドライバーファイル指定] ダイアログボックスから、ドライバーファイルの取得先を指定します。

[OK]

プリンタードライバーとファクスドライバーを登録します。処理が終了すると [他社製ドライバーの登録結果] ダイアログボックスが表示されます。

[キャンセル]

処理を取消し、ダイアログボックスを閉じます。

富士フイルムビジネスインノベーション製ドライバーの登録結果

富士フイルムビジネスインノベーション製プリンタードライバーとファクスドライバーの、登録結果を表示します。



ドライバー登録処理中に障害が発生した場合、登録結果が正しく表示されない場合があります。必ず [富士フイルムビジネスインノベーション製ドライバー管理] ウィンドウで確認してください。

[閉じる]

ダイアログボックスを閉じます。

他社製ドライバーの登録結果

富士フイルムビジネスイノベーション製以外のプリンタードライバーとファクスドライバーの、登録結果を表示します。

[閉じる]

ダイアログボックスを閉じます。

クライアントモードでインストールした場合

操作説明

Update Service を起動する・終了する

Update Service を起動する

1. PC を起動して、Administrators グループのユーザーでログオンします。
2. 自動的に Update Service も起動し、タスクトレイにアイコンが表示されます。



- ・ Update Service が起動しない場合や、Update Service を終了したあとで再起動する場合は、Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [アップデートサービス] > [Update Service- いますぐ更新] と選択してください。
- ・ アイコンは、初期設定では表示されますが、[全般] タブで [表示しない] (更新結果の通知を受けた場合は一時的に表示する) に設定した場合は表示されません。

タスクトレイに表示されるアイコンは、次の 2 種類があります。

- ・  (更新の通知を受けていない状態)
- ・  (更新の通知を受けた状態)

アイコンの詳細については、「アイコン」(P.24) を参照してください。

Update Service を終了する

1. タスクトレイの  (更新の通知を受けていない状態) アイコンを右クリックします。
2. メニューから [終了] を選択します。
Update Service が終了します。

ソフトウェアを更新する

Update Service が対応するソフトウェアをダウンロードしてインストールする手順を、説明します。



新しいバージョンの Update Service とその他のソフトウェアがリリースされている状態で更新すると、はじめに Update Service が更新されます。
その他のソフトウェアは、そのあとに更新してください。

1. PC を起動します。
自動的に Update Service も起動します。
起動しない場合は、「Update Service を起動する」(P.40) の補足を参照してください。
2. [Update Service- プロパティ] ウィンドウの [更新の設定] タブをクリックします。
3. Update Service をサーバーモードでインストールした場合は、ソフトウェアを自動更新の対象にするか、プリンタードライバーとファクスドライバーを自動更新の対象にするかを選択できます。
[Update Service の更新対象] で、[ソフトウェア] または [ドライバー] にチェックマークを付けるか、外します。
Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、常にソフトウェアが自動更新の対象になります。プリンタードライバーとファクスドライバーを自動更新の対象にはできません。

4. [更新の設定] タブで次の設定をします。

■ 自動的な更新の通知の受信とダウンロードをしたい場合

- (1) [更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する] を選択します。
- (2) [開始時刻] と [更新間隔] を設定します。
- (3) [適用] または [OK] をクリックします。
[開始時刻] と [更新間隔] に設定した時間が到来したときに更新があった場合は、アイコンに通知され、更新用パッケージがダウンロードされます。

■ 自動的な更新の通知の受信だけをしたい場合

- (1) [更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない] を選択します。
- (2) [開始時刻] と [更新間隔] を設定します。
- (3) [適用] または [OK] をクリックします。
[開始時刻] と [更新間隔] に設定した時間が到来したときに更新があった場合は、アイコンに通知されます。

■ 自動的な更新の通知の受信とダウンロードをしたくない場合

- (1) [自動更新を無効にする] を選択します。
- (2) [適用] または [OK] をクリックします。

5. 必要に応じて、[Update Service- プロパティ] ウィンドウの次のタブの項目を設定します。

初期状態の設定でよい場合は、設定する必要はありません。

- ・ [全般] タブ
- ・ [ログ] タブ
- ・ [更新の通知] タブ
- ・ [ソフトウェア取得先] タブ
- ・ [更新対象ソフトウェア] タブ
- ・ [ドライバー取得先] タブ
Update Service をクライアントモードでインストールした場合、このタブの内容は表示できません。
- ・ [更新対象ドライバー] タブ
Update Service をクライアントモードでインストールした場合、このタブの内容は表示できません。

6. 自動的に更新されたソフトウェアがダウンロードされたときは、[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウでインストールします。

すぐに更新したい場合や、[更新の設定] タブで [更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない] または [自動更新を無効にする] を選択した場合は、[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウでダウンロードとインストールをします。

7. [実行結果] ダイアログボックスに表示された、インストール結果を確認します。

インストールできなかった更新用パッケージがある場合は、手順 8 のあとに手順 9 を実行してください。

8. [実行結果] ダイアログボックスを閉じます。

9. [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウを再度表示して、インストールできなかった更新用パッケージにチェックマークを付け、[インストール] をクリックします。

更新用パッケージを削除する

格納先から不要な更新用パッケージを削除します。

1. [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウの一覧で、削除する更新用パッケージにチェックマークを付けます。

2. [削除] をクリックします。

格納先から選択した更新用パッケージが削除されます。

アイコン

タスクトレイには、Update Service のアイコンが表示されます。

通知が無いときはが、あるときはが表示されます。

それぞれのアイコンが表示されているときのメニュー、バルーンヒント、ツールヒントテキスト、およびクリックしたときに表示される内容について説明します。

(Update Service) アイコン

通知が無いときに表示されます。

バルーンヒントは表示されません。

ツールヒントテキストは、[Update Service] が表示されます。

- 右クリックしたときのメニュー

- いますぐ更新

- [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されます。

- [Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、[いますぐ更新] をクリックできません。



アイコンをダブルクリックしても、[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されます。

- プロパティ

- [Update Service- プロパティ] ウィンドウが表示されます。

- [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、[プロパティ] をクリックできません。

- 格納先の管理

- [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されます。

- [Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されているときは、[格納先の管理] をクリックできません。

- ドライバー管理

- このメニューは、Update Service をサーバーモードでインストールした場合だけ表示されます。

- [Update Service- 富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバー管理] ウィンドウが表示されます。

- 他社製ドライバー管理

- このメニューは、Update Service をサーバーモードでインストールした場合だけ表示されます。

- [Update Service- 他社製ドライバー管理] ウィンドウが表示されます。

- バージョン情報

- [バージョン情報] ウィンドウが表示されます。

- ヘルプ

- このヘルプが表示されます。

- 終了

- Update Service が終了します。



アイコン

通知があるときに表示されます。

- 表示される内容と左クリックしたときの動作

バルーンヒント	ツールヒントテキスト	左クリックまたはダブルクリックしたとき
最新情報チェック終了 富士フイルムビジネスイノベーションからの新着のお知らせがあります。 詳細は ApeosWare Management Suite のポータルで確認してください。	新着お知らせの通知	次のメッセージボックスが表示されます。 「富士フイルムビジネスイノベーションからの新着のお知らせがあります。 詳細は ApeosWare Management Suite のポータルで確認してください。」
最新情報チェック終了 最新情報のチェックが終了しました。 最新情報をダウンロードするには、このアイコンをクリックしてください。	最新情報チェック結果の通知	[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されます。 ただし、[Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、表示されません。
ダウンロード終了 最新情報のダウンロードが終了しました。 インストールするには、このアイコンをクリックしてください。	ダウンロード結果の通知	[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されます。
ドライバー登録終了 ドライバーを Update Service へ登録しました。	ドライバー登録結果の通知	1 件以上登録した場合 「富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバーの登録結果」ダイアログボックスが表示されます。 1 件も登録しなかった場合 次のメッセージボックスが表示されます。 「ドライバー登録の結果、該当する最新のドライバーがないか、または、プロパティの [更新対象ドライバー] タブで、該当するドライバーが選択されていないため、何もせず処理を終了しました。」
自動更新エラー 自動更新に失敗しました。	自動更新失敗の通知	失敗した原因を示すメッセージボックスが表示されます。
ドライバー登録中止 更新対象ドライバーが選択されていません。	ドライバー登録中止の通知	次のメッセージボックスが表示されます。 「更新対象のドライバーが1つも選択されていないため、ドライバーを登録しませんでした。プロパティの [更新対象ドライバー] タブで、登録したいドライバーを選択してください。」

- 右クリックしたときのメニュー

- 通知の表示

「表示される内容と左クリックしたときの動作」で「左クリックまたはダブルクリックしたとき」と同様です。

- 通知の一括削除

「[件数] 件の通知メッセージを、すべて削除します。よろしいですか？」というメッセージボックスが表示されます。

[はい] をクリックすると、保存されている通知メッセージをすべて削除します。

ウィンドウ

Update Service- いますぐ更新

次のどちらかの操作をすると表示されます。

- タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[いますぐ更新] をクリックします。
- Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [アップデートサービス] > [Update Service いますぐ更新] を選択します。

[Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、[いますぐ更新] をクリックできません。

取得先の最新情報を確認して、更新用パッケージのダウンロードとインストールを行います。

更新用パッケージとは、ソフトウェアのバージョンごとにある単位です。

ダウンロード対象リスト

- [最新情報をチェック]

取得先の最新情報をチェックし、ダウンロードの対象となる更新用パッケージを一覧に表示します。

また、富士フイルムビジネスイノベーションからのお知らせを取得します。



- お知らせの内容は、ApeosWare Management Suite の [ポータル] ページで確認してください。
- お知らせを取得中にエラーが発生しても、新着のお知らせが [ポータル] ページに表示されることがあります。

- 取得先

[ソフトウェア取得先] タブの [取得先] に設定した URL が表示されます。

- 一覧

ダウンロードする更新用パッケージにチェックマークを付けます。

[ダウンロード]

[ダウンロード対象リスト] で指定した更新用パッケージをダウンロードします。

終了すると、[実行結果] ダイアログボックスに結果が表示されます。

インストール対象リスト

- 格納先

Update Service をインストールしたときにモジュール格納先フォルダーに設定したフォルダーのパスが表示されます。

ダウンロードした更新用パッケージが格納されます。

- 一覧

インストール済みのソフトウェアより新しいバージョンの更新用パッケージで、インストールされていないものが表示されます。

インストールする更新用パッケージに、チェックマークを付けます。

[インストール]

[インストール対象リスト] で指定した更新用パッケージをインストールします。

終了すると、[実行結果] ダイアログボックスに結果が表示されます。



インストールしたパッケージは、インストール対象リストから削除されます。再インストールなどで古いバージョンに戻った場合でも、再度リストに表示されることはありません。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

Update Service- プロパティ

次のどちらかの操作をすると表示されます。

- タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
- Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [アップデートサービス] > [Update Service プロパティ] と選択します。

[Update Service- いますぐ更新] ウィンドウまたは [Update Service- 格納先の管理] ウィンドウが表示されているときは、[プロパティ] をクリックできません。

次のタブとボタンで構成されます。

タブ

- [全般] タブ
- [ログ] タブ
- [更新の設定] タブ
- [更新の通知] タブ
- [ソフトウェア取得先] タブ
- [更新対象ソフトウェア] タブ
- [ドライバー取得先] タブ
- [更新対象ドライバー] タブ

Update Service をクライアントモードでインストールした場合、[ドライバー取得先] タブと [更新対象ドライバー] タブは表示されません。

[OK]

設定している内容を保存し、ウィンドウを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、ウィンドウを閉じます。

[適用]

設定した内容を有効にします。

[ヘルプ]

このヘルプを表示します。

[全般] タブ

全般的なプロパティを設定します。

タスクトレイでのアイコンの表示

タスクトレイのアイコン表示の有無を選択します。

- 表示する
タスクトレイにアイコンを表示します。
初期状態で選択されています。
- 表示しない（更新結果の通知を受けた場合は一時的に表示する）
タスクトレイのアイコンを非表示にします。

インストーラの実行モード

インストールをするときの実行モードを指定します。

- サイレントモード（対話が必要な場合は対話モードで実行される）
ダイアログボックスを表示しないでインストールします。
ユーザーは各項目を入力する必要はありません。
ただし、入力が必要な場合は、設定に関係なく対話モードで実行されます。
初期状態で選択されています。
- 対話モード
対話モードでインストールします。
ダイアログボックスを表示し、必要な項目を入力してインストールします。

[ログ] タブ

ログの保存期間の設定と、保存先の確認をします。

保存期間

保存期間を、[90 日]、[180 日]、[360 日]、[削除しない] から選択します。
初期値は [360 日] です。

格納先

ログの保存先が表示されます。



補足

保存期間で [削除しない] 以外を選択した場合、ファイルの作成日が、現在の日付～保存期間より過去に作成されたログファイルを削除します。新しいログファイルを作成するときに削除されます。

[更新の設定] タブ

自動更新の対象と、更新の実行について設定します。

Update Service の更新対象

Update Service をサーバーモードでインストールした場合に表示されます。クライアントモードでインストールした場合は、表示されません。

- ソフトウェア
ソフトウェアを自動更新の対象にする場合に、チェックマークを付けます。
 - ドライバー
プリンタードライバーとファクスドライバーを自動更新の対象にする場合に、チェックマークを付けます。
- Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、ソフトウェアが常に自動更新の対象になります。プリンタードライバーとファクスドライバーは、常に自動更新の対象外になります。

自動更新の設定

自動更新の実行について、次から選択します。

- 自動更新を無効にする
- 更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない
- 更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する

上記の項目を選択したときに、対象ごとに実行される機能を次の表に示します。

○：機能が実行される

×：機能が実行されない

項目名	機能	対象				
		ソフトウェア *1	富士フィルムビジネスイノベーション製のプリンターとファクスドライバー (PostScript ドライバーを除く) *2	富士フィルムビジネスイノベーション製の PostScript ドライバー *2	富士フィルムビジネスイノベーション製のプリンター以外のプリンタードライバーとファクスドライバー *2	富士フィルムビジネスイノベーションからのお知らせ *3
自動更新を無効にする	更新の通知	×	×	×	×	×
	ダウンロード	×	×	×	×	×
	インストール	×	×	×	×	×
更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない *4	更新の通知	○	○	×	×	○
	ダウンロード	×	○ *5	×	×	○
	インストール	×	×	×	×	×
更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する	更新の通知	○	○	×	×	○
	ダウンロード	○	○ *5	×	×	○
	インストール	×	×	×	×	×

*1 Update Service をサーバーモードでインストールした場合は、[自動更新の設定] で [ソフトウェア] にチェックマークを付けた場合の対象です。Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、常に対象です。

*2 Update Service をサーバーモードでインストールした場合は、[自動更新の設定] で [ドライバー] にチェックマークを付けた場合の対象です。Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、常に対象外です。

*3 Update Service をサーバーモードでインストールした場合は、常に対象です。Update Service をクライアントモードでインストールした場合、Update Service を利用するソフトウェアの機能によって、対象になるかならないかが決まります。

*4 初期状態で選択されています。

*5 ダウンロードされると、ApeosWare Management Suite のデータベースに登録した機器と組み合わせられてプリンタードライバーまたはファクスドライバーになります。
ApeosWare Management Suite の [プリンタードライバーのダウンロード] ページで、プリンタードライバーまたはファクスドライバーをダウンロードできるようになります。

開始時刻

[更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない] または [更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する] を選択した場合に、チェックする時刻を次のように設定します。

● 時間

[0] ～ [23] の 1 時間刻みで選択します。

サーバーモードでの初期値は [0] です。クライアントモードでの初期値は [11] ～ [17] から、インストールのとき無作為に選択されます。

● 分

[00] ～ [55] の 5 分刻みで選択します。

クライアントモードでの初期値は [00] ～ [55] から、インストールのとき無作為に選択されます。

更新間隔

「更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない」または「更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する」を選択した場合に、チェックする間隔を選択します。

- 毎日
毎日チェックします。
- 毎週
初期状態で選択されています。
チェックする間隔を曜日で指定します。
- 毎月
チェックする間隔を日付で指定します。
設定した日付が、チェックする月の最終日より大きい場合は、最終日に実施されます。

自動更新の際に、最新の更新対象ドライバーを取得する

Update Service をサーバーモードでインストールした場合だけ表示されます。

ApeosWare Management Suite のデータベースに機器を追加した場合は、チェックマークを付けると、プリンタードライバーまたはファクスドライバーが登録されます。

初期状態では、チェックマークが外れています。

「更新の通知」タブ

「更新の設定」タブで、「更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない」または「更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する」を選択した場合、チェックやダウンロード結果の通知条件と通知方法を設定します。



補足

「更新の設定」タブで、「自動更新を無効にする」を選択した場合、ここでの設定は無効になります。

通知条件

通知条件を選択します。

初期状態では、すべてチェックマークが付いています。

- 最新情報のチェック結果を通知する
更新のチェック結果を通知します。
- ダウンロードの結果を通知する
ダウンロードの結果を通知します。
- ドライバーの更新結果を通知する
この項目は、Update Service をサーバーモードでインストールした場合に表示されます。
プリンタードライバーまたはファクスドライバーをダウンロードした結果を通知します。

リマインダー

通知条件で選択した実行結果の通知方法を選択します。

- 通知は一回のみ
一回だけ通知します。
- 繰り返し通知する
指定した間隔で、繰り返し通知します。
ただし、アイコンに表示されたバルーンヒントをクリックすると、通知が停止されます。
そのあと通知が更新されると、再び通知が開始されます。

初期状態で選択されています。



【繰り返し通知する】を選択した場合は、自動更新の設定には関係なく、実行結果だけ通知されます。

- 間隔

通知する間隔を、[10 分]、[30 分]、[1 時間]、[2 時間]、[半日]、[1 日]、[2 日]、[1 週間]、または [2 週間] から選択します。

初期値は [10 分] です。

[ソフトウェア取得先] タブ

Update Service をサーバーモードでインストールした場合、このタブの内容を表示できるのは、[更新の設定] タブの [自動更新の設定] で [ソフトウェア] にチェックマークを付けたときです。

Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、このタブの内容を常に表示できます。最新情報の取得先と、ダウンロードした更新用パッケージの保存先を設定します。

取得先

最新情報の取得先を選択します。

- 富士フィルムビジネスイノベーションのサイトから最新情報を取得する

サーバーモードでインストールした場合に表示されます。

富士フィルムビジネスイノベーションのサイトから最新情報を取得します。

初期状態で選択されています。

- サーバーの格納先から最新情報を取得する

クライアントモードでインストールした場合に表示されます。

接続先サーバーの格納先から最新情報を取得します。

初期状態で選択されています。

以下の項目は、サーバーモードとクライアントモードのどちらでインストールした場合も同じです。

- ・ URL

初期設定では、富士フィルムビジネスイノベーションの URL

(http://opencds-fb.fujifilm.com/gen/aw_suite_aux/softwareupdate/awms/) が入力されています。

- ・ プロキシサーバー

プロキシサーバーとプロキシ認証を使用するかしないかを表示します。

[プロキシサーバーの設定]

[プロキシサーバーの設定] をクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。

- 共有フォルダー、または、メディアから最新情報を取得する

共有フォルダーまたはメディアから最新情報を取得します。

- ・ フォルダー名

共有フォルダー名、またはローカルフォルダー名 (パス) を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 260 です。

[参照]

[参照] をクリックすると、フォルダーを指定できます。

- ・ アカウントを使用する

アカウントを使用する場合は、チェックマークを付けて、次の項目を設定します。

- ・ アカウント名

アカウント名を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。

- ・ パスワード

アカウントのパスワードを入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。



取得先に共有フォルダーを指定してアカウントを使用する場合、入力したアカウント名とパスワードで、指定したフォルダーにアクセスできるかどうかをチェックします。
アカウント名とパスワードを入力しなくてもアクセスできる場合は、入力したアカウント名とパスワードは無効になります。フォルダーへアクセスできなかったときは、エラーになります。

【更新対象ソフトウェア】タブ

Update Service をサーバーモードでインストールした場合、このタブの内容を表示できるのは、[更新の設定] タブの [自動更新の設定] で [ソフトウェア] にチェックマークを付けたときです。
Update Service をクライアントモードでインストールした場合は、このタブの内容を常に表示できます。
自動的に更新するソフトウェアを選択します。

対象一覧

Update Service が対応するソフトウェアが表示されます。
チェックマークを付けると、自動的に更新する対象になります。
初期設定では、すべてのソフトウェアにチェックマークが付いています。

Update Service- 格納先の管理

タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[格納先の管理] をクリックすると表示されます。
[Update Service- プロパティ] ウィンドウまたは [Update Service- いますぐ更新] ウィンドウが表示されているときは、[格納先の管理] をクリックできません。
格納先に保存されている更新用パッケージの表示と削除を行います。

格納先

Update Service をインストールしたときにモジュール格納先フォルダーに設定したフォルダーのパスが表示されます。

一覧

[格納先] に保存されている更新用パッケージを表示します。

- 実施状態

Update Service を使用してインストールが完了した場合は [インストール]、それ以外の場合は [ダウンロード] が表示されます。



Update Service 以外でアンインストールなどをして、一覧の内容は更新されません。

- 実施日

Update Service を使用して、ダウンロードまたはインストールを最後に実行した日付を表示します。

- ソフトウェア名

更新用パッケージのソフトウェア名を表示します。

- バージョン

更新用パッケージのバージョンを表示します。

【すべて選択】

一覧に表示されたすべての項目に、チェックマークが付きます。

【選択を解除】

一覧で選択されているすべての項目の、チェックマークを外します。

[削除]

チェックマークが付いている更新用パッケージを削除します。

**補足**

サーバーからクライアントツールのパッケージを削除すると、クライアント PC がそのパッケージをダウンロードできなくなります。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

バージョン情報

タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[バージョン情報] をクリックすると表示されます。

お使いの Update Service のバージョン情報が表示されます。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

ヘルプ

タスクトレイにある Update Service のアイコンを右クリックして、[ヘルプ] をクリックすると表示されます。
このヘルプが表示されます。

ダイアログボックス**プロキシサーバーの設定**

最新情報の取得に、プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。使用する場合は、接続先のプロキシサーバーや認証方法を設定します。

[Update Service- プロパティ] ウィンドウの [ソフトウェア取得先] タブまたは [ドライバー取得先] タブで、[プロキシサーバーの設定] をクリックすると表示されます。

プロキシサーバーを使用する

プロキシサーバーを使用する場合はチェックマークを付けて、次の項目を設定します。

- アドレス
IPv4、IPv6、または、有効な DNS アドレス名を入力します。
入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。
- ポート
ポート番号を入力します。
入力できる文字は、数字の 1 ～ 65535 です。
- プロキシ認証を使用する
プロキシ認証を使用する場合は、チェックマークを付け、次の項目を設定します。
 - ・ ユーザー名
プロキシサーバーのユーザー名を入力します。
入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。
 - ・ パスワード
プロキシサーバーのパスワードを入力します。
入力できる文字数は、半角の英数字で 0 ～ 256 です。

[OK]

設定を保存し、ダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

処理を取消し、ダイアログボックスを閉じます。

進捗状況

処理が開始されると表示され、終了すると閉じます。

[中止]

実行中の処理を中止します。

〔Update Service- 富士フイルムビジネスイノベーション製ドライバー管理〕ウィンドウで、〔ファイルから登録〕または〔メディアから登録〕を選択した場合は表示されません。

実行結果

更新のチェック、ダウンロード、またはインストールの実行結果が表示されます。

[閉じる]

ダイアログボックスを閉じます。

確認

インストールする前、または〔Update Service- 格納先の管理〕ウィンドウで更新用パッケージを削除する前に表示されます。

一覧に表示される項目が、処理対象です。

[はい]

操作中の処理を実行します。

[いいえ]

操作中の処理を取消し、画面を閉じます。

3 Diagnostics Utility のヘルプ

Diagnostics Utility とは

Diagnostics Utility は、トラブルが発生したときに、社内 LAN 環境の通信を確認したり、システム情報やログ情報を収集したりすることによって、問題箇所を特定するのに役立ちます。

操作の流れ

Diagnostics Utility を使った、エラー診断の流れについて説明します。

1. Diagnostics Utility を起動します。
2. 機器／サーバーとの接続状況を確認します。
エラー箇所を特定できない場合は、手順 3 に進みます。
3. Windows ／ログ情報を取得します。
4. Diagnostics Utility を終了します。

メイン画面とダイアログボックス

メイン画面

画面について

メイン画面の構成について説明します。

【接続状況確認】 タブ

社内 LAN 環境の通信を確認するときに使います。

【接続状況確認】 タブを表示します。

【情報取得】 タブ

システム情報やログ情報を収集するときに使います。

【情報取得】 タブを表示します。

【ログ設定】 タブ

詳細ログを記録するかどうかと、記録するログサイズの上限を設定するときに使います。

【ログ設定】 タブを表示します。

【バージョン情報】

Diagnostics Utility のバージョン情報を表示します。

【終了】

Diagnostics Utility を終了します。

【接続状況確認】 タブ

ネットワークに接続されている機器およびサーバーとの接続を確認し、通信状況からエラーを診断します。

機器

接続を確認する機器を追加する場合に選択します。

サーバー

接続を確認するサーバーを追加する場合に選択します。

IP アドレスまたはホスト名

接続を確認する機器またはサーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

IPv4、IPv6、または FQDN（完全修飾ドメイン名）の形式で入力できます。

【追加】

【IP アドレスまたはホスト名】に入力した機器またはサーバーを、【確認する機器 / サーバー一覧】に追加します。

確認する機器 / サーバー一覧

接続を確認する機器またはサーバーが一覧に表示されます。

【削除】

【確認する機器 / サーバー一覧】 から、機器またはサーバーを削除します。

【通信設定】

SNMP プロトコルを使用して機器との接続状況を確認する場合にクリックします。

[通信設定] ダイアログボックスを表示します。

[開始]

機器またはサーバーとの接続の確認を開始します。

[保存]

機器またはサーバーとの接続の確認結果を CSV ファイルに書き出します。

接続状況の詳細情報

機器またはサーバーとの接続の確認結果を一覧に表示します。

[情報取得] タブ

PC のシステム情報やネットワークの情報、IIS のログ、および ApeosWare Management Suite のソフトウェアの動作ログを取得できます。

取得した情報は、ZIP 形式のファイルで保存されます。

ログ情報に関する設定

- ログを取得する期間を指定する

ログ情報を指定の期間内で取得するかどうかを指定します。

初期設定では、チェックマークは外れています。

- ・ 開始日

ログを取得する期間の開始日を指定します。[▼] をクリックしてカレンダーを表示し、指定の日付をクリックします。

初期値には、現在の日付が設定されています。

- ・ 終了日

ログを取得する期間の終了日を指定します。[▼] をクリックしてカレンダーを表示し、指定の日付をクリックします。

初期値には、現在の日付が設定されています。



カレンダー表示で年月を切り替える場合は、年月の左右の [<] または [>] をクリックします。

取得対象情報の一覧

Windows 情報と、動作ログを取得するソフトウェアの種類を表示します。

初期値で表示される対象は、次のとおりです。

- Windows 情報

チェックマークを付けると、OS の基本情報、ネットワーク情報、イベントログ、IIS (Internet Information Services) ログ、およびインストールされているアプリケーション名などが取得されます。

- {ApeosWare Management Suite とその関連ソフトウェア名} ログ

ApeosWare Management Suite など、動作ログを取得できるソフトウェア名を表示します。

チェックマークを付けたソフトウェアのログが取得されます。

- {ApeosWare Management Suite とその関連ソフトウェア名} 情報

ApeosWare Management Suite など、設定情報を取得できるソフトウェア名を表示します。

[追加]

取得するシステム情報またはログ情報を選択し、[取得対象情報の一覧] に追加します。

[すべて選択]

一覧に表示しているシステム情報およびログ情報をすべて選択します。

[すべて選択解除]

一覧に表示しているシステム情報およびログ情報の選択をすべて解除します。

取得結果

システム情報およびログ情報の取得結果を一覧に表示します。

[取得開始]

システム情報およびログ情報の取得を開始します。

[設定]

[ログ設定] ダイアログボックスを表示します。

取得情報の詳細設定をする場合にクリックします。

[保存]

システム情報およびログ情報の取得結果を CSV ファイルに書き出します。

取得結果

[取得対象情報の一覧] でチェックマークを付けた対象の取得結果が、次のように表示されます。

- Windows 情報

[取得対象情報の一覧] で [Windows 情報] にチェックマークを付けた場合に表示されます。項目は次のとおりです。

- OS 情報

OS の名前、バージョン、リソースなどの OS 情報が、「System.csv」に書き込まれます。

- ネットワーク情報

コンピューター名、TCP/IP の設定などのネットワーク情報が、「System.csv」に書き込まれます。

- イベントログ

イベントログ情報が、「EventLog」フォルダー内の「Application.evtx」（アプリケーションログ）、「System.evtx」（システムログ）、「Security.evtx」（セキュリティログ）に書き込まれます。

- IIS ログ

IIS（Internet Information Services）の Web サービスのログが、「W3SVC（SiteIndex）」フォルダー内に書き込まれます。

（SiteIndex）にはインデックス値が入り、サイトごとに作成されます。

IIS（Internet Information Services）の Web サービスのエラーログが、「HTTPERR」フォルダー内に書き込まれます。ログファイル名は「ERROR.log」または「ERROR#.log」です。

- プロセス情報

実行中のプロセス一覧が、「Process.csv」に書き込まれます。

- アプリケーション情報

インストールされているアプリケーションの一覧が、「Application.txt」に書き込まれます。

- ログ情報

[取得対象情報の一覧] でチェックマークを付けた [{ApeosWare Management Suite とその関連ソフトウェア名} ログ] が表示されます。

- ソフトウェア情報

[取得対象情報の一覧] でチェックマークを付けた [{ApeosWare Management Suite とその関連ソフトウェア名} 情報] が表示されます。

[ログ設定] タブ

Diagnostics Utility が起動しているシステムにインストールされた ApeosWare Management Suite のログについて、詳細ログを記録するかを選択します。

また、ApeosWare Management Suite で記録するログサイズの上限を設定します。

ログ情報一覧

記録可能なログ情報を一覧に表示します。

詳細ログを記録したいときは、チェックマークを付けます。

ログサイズの上限を設定する

ApeosWare Management Suite で記録するすべてのログの、最大サイズを指定します。

[適用]

詳細ログの設定と、すべてのログの最大サイズを設定します。

ダイアログボックス

通信設定

通信に使用するコミュニティ名やユーザー名を設定して、機器との接続状況を確認します。



補足

機器のコミュニティ名やユーザー名の入力は、初期値を変更しているときにだけです。
変更がない場合は、入力は不要です。

SNMP v1/v2

機器との通信に、SNMP v1 または v2 プロトコルを使用する場合は選択します。

- コミュニティ名

SNMP v1 または v2 プロトコルのコミュニティ名を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 1 ～ 32 です。

SNMP v3

機器との通信に、SNMP v3 プロトコルを使用する場合は選択します。

- ユーザー名

機器にアクセスするユーザー名を入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 1 ～ 128 です。

- メッセージダイジェスト方式

SNMP v3 の認証用プロトコルを、[MD5] と [SHA-1] のどちらかを選択します。

- 認証用パスワード

機器にアクセスするときの認証用パスワードを入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 8 ～ 32 です。

- 本文の暗号化方式

SNMP v3 の暗号化用プロトコルを、[DES] と [AES-128] のどちらかを選択します。

- 暗号化用パスワード

暗号化用パスワードを入力します。

入力できる文字数は、半角の英数字で 8 ～ 32 です。

[OK]

設定している内容を保存し、元のページに戻ります。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、元のページに戻ります。

[ヘルプ]

このヘルプを表示します。

ログ設定

取得するログ情報の形式や、ログの取得期間を設定します。

取得する情報に関する設定

- 次のサイズ単位で分割する
ログ情報を圧縮ファイルで出力するときに、一定サイズで分割するかどうかを指定します。
初期設定では、チェックマークは外れています。
 - ・ [] Mbytes
分割ファイルのサイズを入力します。
初期値には、[1] MB が設定されています。
- パスワードを設定する
ログ情報の圧縮ファイルにパスワードをかけるかどうかを指定します。
初期設定では、チェックマークは外れています。
 - ・ パスワード
圧縮ファイルにかけるパスワードを入力します。

ログ情報に関する設定

- ログのプライベート情報をマスクする
ログに含まれる個人情報を、16 進数のハッシュ値に置き換えるかどうかを指定します。
初期設定では、チェックマークは外れています。
- Open Source Software のログを取得する
OSS (Open Source Software) のログを含めるかどうかを指定します。
初期設定でチェックマークが付いています。

[OK]

設定している内容を保存し、元のページに戻ります。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、元のページに戻ります。

[ヘルプ]

このヘルプを表示します。

バージョン情報

Diagnostics Utility のバージョン情報を表示します。

[閉じる]

ダイアログボックスを閉じます。

操作説明

Diagnostics Utility を起動する・終了する

Diagnostics Utility を起動する

インストール DVD-ROM から起動する

製品パッケージに付属したインストール DVD-ROM から、Diagnostics Utility を起動する操作を説明します。

1. Administrators グループのユーザーで、サーバーまたはクライアント PC にログオンします。
2. 製品パッケージに付属したインストール DVD-ROM を、サーバーまたはクライアント PC の DVD ドライブにセットします。
インストールメニューが自動で表示されます。自動で表示されない場合は、DVD-ROM ルート上の「Launcher.exe」を実行します。
3. インストールメニューで、次の操作をします。
 - (1) [ツール一覧] タブを選択します。
 - (2) [Diagnostics Utility] を選択します。
 - (3) [起動 / インストール] をクリックします。
 - (4) [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[許可] をクリックします。
Diagnostics Utility が起動し、[Diagnostics Utility] ウィンドウが表示されます。

Diagnostics Utility をコピーして起動する

Diagnostics Utility を、DVD-ROM からハードディスクにコピーして起動する操作を説明します。



Diagnostics Utility は、リモートデスクトップから使用することもできます。

1. Administrators グループのユーザーで、サーバーまたはクライアント PC にログオンします。
2. 製品パッケージに付属したインストール DVD-ROM を、サーバーまたはクライアント PC の DVD ドライブにセットします。
3. エクスプローラーで DVD-ROM の「cm¥tools」フォルダーを開き、その中の「dgt」フォルダーを任意の場所にコピーします。
4. 「dgt」フォルダーを開き、「ADTUI.exe」ファイルをダブルクリックします。
[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[許可] をクリックします。
Diagnostics Utility が起動し、[Diagnostics Utility] ウィンドウが表示されます。

Diagnostics Utility をインストールしたあとで起動する

Diagnostics Utility を、サーバーまたはクライアント PC にインストールしたあとで起動する操作を説明します。



Diagnostics Utility は、ApeosWare Management Suite 2 をインストールすることにより、同時にインストールされます。詳しくは、『セットアップガイド』を参照してください。

1. Administrators グループのユーザーで、サーバーまたはクライアント PC にログオンします。

2. Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [Diagnostics Utility] の順に選択します。

Diagnostics Utility が起動し、[Diagnostics Utility] ウィンドウが表示されます。

Diagnostics Utility を終了

1. [終了] をクリックします。

通信状態からエラーを診断する

機器 / サーバーとの接続状況を確認する

ネットワークに接続されている機器およびサーバーとの接続状況を確認し、通信状況からエラーを診断します。

1. [接続状況確認] タブを表示します。
2. 機器を追加する場合は [機器] を、サーバーを追加する場合は [サーバー] を選択します。
3. 接続を確認する機器またはサーバーの [IP アドレスまたはホスト名] を入力し、[追加] をクリックします。



- ・ IPv4、IPv6、または FQDN（完全修飾ドメイン名）の形式で入力できます。
- ・ 入力できる文字数は、半角の英数字で 1 ～ 255 です。

4. 手順 2 ～ 3 を繰り返し、接続を確認する機器またはサーバーをすべて追加します。



追加した機器またはサーバーを取り消す場合は、[確認する機器 / サーバー一覧] から選択し、[削除] をクリックします。

5. [開始] をクリックして、接続の確認を開始します。

6. 通信状況確認結果の一覧に表示された内容を確認します。



- ・ SNMP プロトコルを使用して、機器との接続状況を確認する → 「通信設定を変更する」
- ・ 確認結果を保存する → 「確認結果を CSV ファイルに書き出す」

通信設定を変更する

機器との接続状況を確認するには、[通信設定] ダイアログボックスで、コミュニティ名やユーザー名などを設定します。

1. [接続状況確認] タブの [確認する機器 / サーバー一覧] で通信設定を行う機器を選択し、[通信設定] をクリックします。
2. [通信設定] ダイアログボックスで、通信プロトコルを [SNMP v1/v2] または [SNMP v3] から選択します。
3. 通信プロトコルに、SNMP v1 または v2 を選択した場合はコミュニティ名を、SNMP v3 を選択した場合はユーザー名、メッセージダイジェスト方式、認証用パスワード、本文の暗号化方式、および暗号化用パスワードを入力します。
4. [OK] をクリックします。

確認結果を CSV ファイルに書き出す

機器またはサーバーとの接続の確認結果を CSV ファイルに書き出します。

1. [接続状況確認] タブの通信状況確認結果一覧に確認結果が表示された状態で、[保存] をクリックします。
2. [ファイル保存] ダイアログボックスで保存場所とファイル名を指定し、CSV ファイルを保存します。

Windows/ ログ情報を取得してエラーを診断する

Windows/ ログ情報を取得する

クライアント PC のシステム情報やネットワークの情報、またエラーログや監査ログなどの情報を取得し、ZIP 形式で圧縮したファイルに保存します。

1. [情報取得] タブを表示します。
2. [取得対象情報の一覧] を確認し、取得するログ情報を選択・追加します。
 - ・ 取得するログ情報には、[取得対象情報の一覧] でチェックマークを付けます。取得しないログ情報には、[取得対象情報の一覧] でチェックマークを外します。
 - ・ 取得するログ情報を追加する場合は、[追加] をクリックし、ログファイルを選択します。
3. [取得開始] をクリックします。
4. [保存] をクリックします。
5. [ファイル保存] ダイアログボックスで保存場所とファイル名を指定し、ファイルを保存します。



参照

- ・ 取得するログ情報について詳細設定を行う → 「ログ設定を変更する」
- ・ 取得結果を保存する → 「取得情報を CSV ファイルに書き出す」

ログ設定を変更する

取得するログ情報の形式や、ログの取得期間を設定します。

1. [情報取得] タブで、[設定] をクリックします。
2. [ログ設定] ダイアログボックスで、各項目を設定します。
3. [OK] をクリックします。

取得情報を CSV ファイルに書き出す

システム情報およびログ情報の取得結果を CSV ファイルに書き出します。

1. 取得結果が表示された状態で、[保存] をクリックします。
2. [ファイル保存] ダイアログボックスで保存場所とファイル名を指定し、CSV ファイルを保存します。

記録するログについて設定する

Diagnostics Utility が起動しているシステムにインストールされた ApeosWare Management Suite のログについて、詳細ログを記録するかを設定します。

また、記録するログサイズの上限を設定します。



詳細ログを記録するのは、富士フイルムビジネスイノベーション担当者の指示があったときだけ実行します。

1. [ログ設定] タブを表示します。
2. [ログ情報一覧] から、詳細ログを記録するログ情報にチェックマークを付けます。
3. ログサイズの上限值を設定したい場合は、[ログサイズの上限を設定する] にチェックマークを付け、最大ログサイズを指定します。
4. [適用] をクリックします。

バージョン情報を表示する

Diagnostics Utility のバージョン情報を確認します。

1. メイン画面の [バージョン情報] をクリックし、[バージョン情報] ダイアログボックスを表示します。
2. [閉じる] をクリックします。

ログを一括表示する

Diagnostics Utility で取得したログや、Diagnostics Utility を起動している PC のログを一括で表示できます。

画面について

ログを一括表示するための画面について説明します。

メニューバー

ファイル

- 終了
ログの一括表示が終了します。

操作

- 取得したログを開く
Diagnostics Utility で取得したログファイルを指定します。フォルダーを選択できます。
- このコンピューターのログを開く
Diagnostics Utility を起動している PC のログが指定されます。

表示

- ログ詳細の表示
一覧で選択しているログの詳細を表示します。
- 列の追加と削除
[表示する列の追加と削除] ダイアログボックスが開き、一覧で表示する項目を選択できます。
- ツールバーの表示
[操作のボタン] と、[表示バー] を表示するか、表示しないかを選択します。
- 最新の状態に更新
一覧を最新の状態に更新します。
- ログレベル
表示している一覧を、[致命的なエラーレベル]、[エラーレベル以上]、または [警告レベル以上] から選択します。
- ログフィルター
ログの表示内容を、[すべて]、[Image Log Management] または [メーター] に絞り込んで表示できます。
- ログ種類
表示している一覧を、システムログと監査ログから、チェックマークを付けたものを表示できます。

ヘルプ

- 診断ツールのヘルプ
このヘルプを表示します。
- バージョン情報
Diagnostics Utility のバージョン情報を表示します。

一覧

表示するように選択したログを、次の見出しで表示します。

- ログレベル

- 発生日時
- ソフトウェア名
- 種類
- ジョブ ID
- 自ホスト ID

この項目は、初期状態では表示されません。表示する場合は、[表示] > [列の追加と削除] を選択し、チェックマークを付けてください。

- コンポーネント ID

この項目は、初期状態では表示されません。表示する場合は、[表示] > [列の追加と削除] を選択し、チェックマークを付けてください。

- ユーザー ID

この項目は、初期状態では表示されません。表示する場合は、[表示] > [列の追加と削除] を選択し、チェックマークを付けてください。

- クライアントホスト ID

この項目は、初期状態では表示されません。表示する場合は、[表示] > [列の追加と削除] を選択し、チェックマークを付けてください。

- ログ番号

- コンポーネントの説明

- 下位コンポーネントの説明

この項目は、初期状態では表示されません。表示する場合は、[表示] > [列の追加と削除] を選択し、チェックマークを付けてください。

- スタックトレース

この項目は、初期状態では表示されません。表示する場合は、[表示] > [列の追加と削除] を選択し、チェックマークを付けてください。

起動する

1. 「{DVD-ROM ドライブ} : %cm%tools%dgt」を開きます。
2. [ADTLogViewer] をダブルクリックします。

4 Popup Messenger のヘルプ

Popup Messenger とは

Popup Messenger は、送信したプリントジョブのプリント結果などを、PC で受信して表示します。また、プリントジョブの設定を変更したり、ユーザーや課金先を変更したりできます。

操作説明

初期設定の流れ

ポップアップ通知の受信環境を設定する流れについて説明します。
この操作は、Popup Messenger を最初に操作するときに行います。

1. クライアント PC にログインします。
2. デスクトップにある Popup Messenger のアイコンをダブルクリックします。
[Popup Messenger] ダイアログボックスが表示されます。
3. 必要に応じて、その他の設定をします。
[環境設定] ダイアログボックスで、任意の項目を設定します。

メイン画面

[Popup Messenger] ダイアログボックス

Popup Messenger の設定をするための、メイン画面です。

[起動]

Popup Messenger を起動します。

Popup Messenger がすでに起動している場合は、クリックできません。



補足

Popup Messenger が起動しても、タスクトレイにアイコンは表示されません。

[停止]

Popup Messenger を停止します。

Popup Messenger が起動している場合だけクリックできます。

[バージョン情報]

[Popup Messenger] ダイアログボックスを表示します。

[環境設定]

[環境設定] ダイアログボックスを表示します。

[閉じる]

[Popup Messenger] ダイアログボックスを閉じます。

[環境設定] ダイアログボックス

環境設定ファイルを編集するための画面です。

[ユーザー名]

ユーザー名を入力します。入力できる文字数は、半角の英数字で 1 ～ 256 です。



補足

ユーザー名をいったん登録すると、アンインストールし、インストールし直しても、登録したユーザー名の情報が保持されます。

[パスワード]

パスワードを入力します。入力できる文字数は、半角の英数字で 1 ～ 50 です。

[OK]

設定している内容を保存し、ダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]

設定している内容を破棄し、ダイアログボックスを閉じます。

[Popup Messenger Version Information] ダイアログボックス

Popup Messenger のバージョン情報が表示されます。

[OK]

ダイアログボックスを閉じます。

プリントジョブの設定画面

[プリント詳細] ウィンドウ

プリントジョブを送信すると表示されます。プリントジョブの設定を変更したり、ユーザーやアカウントの情報を設定します。

プリントルールに関するメッセージ

プリントジョブに対し、管理者が設定したプリントルールが適用され、かつ「プリントルールを適用しない」オプションが有効な場合、メッセージが表示されます。

プリントルールの適用を解除し、プリントジョブを実行する場合は、[プリントルールを適用しない] にチェックマークを付けます。

プリントジョブを取り消す場合は、[キャンセル] をクリックします。



補足

プリントルールは、管理者が ApeosWare Management Suite で設定します。

[ジョブ名]

プリントジョブのジョブ名が表示されます。

ジョブ名を変更する場合は、アイコンをクリックすると表示される [ジョブ名の変更] ウィンドウで変更します。

[ユーザー]

ユーザー名を選択します。

ユーザーを変更する場合は、アイコンをクリックすると表示される [パスワードの入力] ウィンドウでユーザー認証をすると、プリントできるようになります。



補足

ジョブオーナーに対応したユーザー名が初期値として表示されます。また、初期値のユーザーに関連付けられたサブユーザーを選択できます。

[個人 / 共有アカウント]

アカウントと、残高または限度額が表示されます。

ユーザーごとのアカウントを使用する場合は、アカウント名を選択します。

アカウントとは、プリント料金を引き落とすための口座のようなものです。ユーザーは、複数のアカウントを持つことができます。



補足

- ・ユーザーに関連付けられたアカウント名が初期値として表示されます。ユーザーに関連付けられたアカウントがない場合は、ユーザーグループに関連付けられたアカウント名が表示されます。
- ・親アカウントが関連付けられている場合は、サブアカウントが表示されます。親アカウントは表示されません。

[すべてのユーザーのアカウント]

ユーザーごとのアカウントがない場合、すべてのユーザーが使用できるアカウントを選択します。案件ごとに課金する場合などにも便利です。

使用するアカウント名が表示されない場合は、アイコンをクリックすると表示される [すべてのユーザーのアカウントの選択] ウィンドウで追加します。

[クライアントへの請求可能]

[すべてのユーザーのアカウント] で、[しない] 以外の項目を選択した場合は、チェックマークを付けます。

[アカウント指定なしでの使用]

適切なアカウントがない場合や、残高が不足している場合は、アカウントを指定しないでプリントすることもできます。

このような場合に、チェックマークを付けます。

[理由を入力]

[アカウント指定なしでの使用] にチェックマークを付けた場合、その理由を入力します。

入力できる文字数は、1 ～ 128 です。



[アカウント指定なしでの使用] にチェックマークを付けた場合、入力必須です。

[ジョブ料金 (¥)]

プリントの料金が表示されます。

[用紙サイズ]

プリントする用紙サイズを設定します。



サイズ混在原稿の場合は、[変更しない] に設定します。
承認プリントが有効の場合は、設定できません。

[カラーモード]

カラーモードを設定します。



- ・ 次の場合には、設定できません（白黒となります）。
 - ・ アクセスプロファイルに設定されたポリシーで承認プリントが有効で、カラーモードが設定されている場合
 - ・ アクセスプロファイルで強制白黒が設定されている場合
 - ・ プリントルールで強制白黒が設定されている場合
- ・ プリントジョブが「カラー / 白黒混在」の場合、プリントジョブが「カラーのみ」の場合、およびプリントジョブが「2 色カラー」の場合は、「カラー（自動判別）」または「白黒」が選択できます。
- ・ プリントジョブが「白黒」の場合は、「白黒」だけが選択できます。

[両面]

両面プリントをするかどうか、および両面プリントのとじ方を設定します。



管理者が設定したプリントルールや、ユーザープロファイルなどによって、設定が変更できない場合があります。

[部数]

プリントする部数を、1 ～ 999 の範囲で設定します。



承認プリントが有効の場合は、設定できません。

[プリント]

ウィンドウを閉じ、プリントジョブが実行されます。

プリントルールが適用されてプリントジョブがキャンセルされる場合は、表示されません。

[キャンセル]

プリントジョブを取り消します。[キャンセル] をクリックすると表示される確認画面で [はい] をクリックし、ウィンドウを閉じます。

[ジョブ名の変更] ウィンドウ

ジョブ名を変更できます。

[ジョブ名]

プリントジョブ名を入力します。入力できる文字数は、1 ～ 64 です。

[OK]

ジョブ名を保存し、[プリント詳細] ウィンドウに移動します。

[キャンセル]

処理を取り消し、[プリント詳細] ウィンドウに移動します。

[パスワードの入力] ウィンドウ

[プリント詳細] ウィンドウで、使用するユーザー名が表示されない場合に、一時的にプリントを許可するためのユーザー認証をします。

[ユーザー名]

ユーザー名を入力します。入力できる文字数は、半角の英数字で 1 ～ 256 です。

[パスワード]

パスワードを入力します。入力できる文字数は、半角の英数字で 1 ～ 50 です。

[認証]

入力したユーザーが認証され、[プリント詳細] ウィンドウに移動します。このとき、ユーザーに関連付いているアカウント情報も反映されます。

[キャンセル]

処理を取り消し、[プリント詳細] ウィンドウに移動します。

[すべてのユーザーのアカウントの選択] ウィンドウ

ユーザーが共同で使用できるアカウントを検索し、[プリント詳細] ウィンドウの [すべてのユーザーのアカウント] に追加します。

[検索]

コンボボックスで、検索対象を [親 / サブアカウント]、[親アカウント]、[サブアカウント] から選択したあと、テキストボックスに検索するキーワードを入力します。入力できる文字数は、1 ～ 256 です。アイコンをクリックすると、検索結果の一覧が表示されます。



[親アカウント] を選択した場合でも、検索結果にはサブアカウントが表示されます。

[アカウントの選択]

検索されたアカウントの [サブアカウント名]、[親アカウント]、[残高 (\)] の一覧が表示されます。追加するアカウントを選択します。

[OK]

選択したアカウントを追加し、[プリント詳細] ウィンドウに移動します。

[取り消し]

処理を取消し、[プリント詳細] ウィンドウに移動します。

キャンセル通知ウィンドウ

ApeosWare Management Suite の処理でプリントジョブがキャンセルされると表示されます。プリントジョブがキャンセルされた理由を確認できます。



補足

- ・ このウィンドウは、プリントを実行したユーザーのアクセスプロファイルで、ポップアップ画面にプリントジョブの状態を表示するように設定されている場合に表示されます。
- ・ ユーザー自身がプリントジョブをキャンセルした場合や、プリントジョブの有効期限が過ぎてキャンセルされた場合は、通知されません。

[ジョブ名]

キャンセルされたプリントジョブのジョブ名が表示されます。

[ジョブの作成日時]

プリントジョブが作成された日時が表示されます。

表示形式は、ユーザーが選択している言語に依存します。

[理由]

プリントジョブがキャンセルされた理由が表示されます。

[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

カラー印刷警告ダイアログボックス

〔プリント詳細〕 ウィンドウで〔プリント〕 をクリックした場合に、カラーモードがカラーに設定されているときに表示されます。



参照

機能の設定方法→『機能ガイド』の「カラー印刷警告通知」

〔白黒に変更してプリント〕

カラーモードを白黒に変更してプリントします。

〔カラーのままプリント〕

カラーモードをカラーから変更せずにプリントします。